

同志社大学商学部



父母会報



No.79
May 2025

D O S H I S H A U N I V E R S I T Y

Contents

No.79 May 2025

「[変化の時代]における親の役割を共に学びましょう」…2
父母会会長 梁 裕之

父母会ニュース ……3
2025年度 父母会定時総会報告

父母のための一日大学ご報告 ……5

学部より ……9
学部長 崔 容熏
学生主任 山内 雄気

学業履修について ……11

成績通知書の見方 ……16

学生Challenger
資格試験合格体験談 ……17
留学体験談 ……18

2025年度 商学部教員名簿 ……19

支部だより ……21

同志社大学商学部父母会会則 ……22

キャンパスカレンダー ……23

■表紙の写真

彰栄館 [重要文化財]

アメリカン・ボードの寄付によりD.C.グリーンが設計した建物で、1884年に竣工しました。レンガ造の洋風な外観に対して、内部の間仕切壁や小屋組など、構造形式は純和風になっています。塔屋は鐘塔と時計塔を兼ねており、毎朝の礼拝を告げる鐘の音は、明治以来、同志社中学校が岩倉キャンパスに移転するまで、司鐘生と呼ばれる中学校の生徒が担当していました。1979年5月に重要文化財に指定されています。



「変化の時代」における 親の役割を共に学びましょう

父母会会長 梁 裕之



同じ学び舎で子どもたちが学ぶ保護者の皆さま、皆様の親としてのご苦勞、ご努力に心から敬意を表します。平素は、同志社大学商学部の父母会の活動にご協力をいただき誠にありがとうございます。本年度商学部父母会の会長を務めさせていただき、梁です。よろしくお願ひいたします。

「大学に父母会がある。しかも学部で父母会がある。どんな活動をしているのか？」

そう思われている方も多いでしょう。かつて私自身も同じ気持ちでした。同志社大学商学部父母会は、全国12の支部があり、54周年の歴史を持ちます。父母会の活動は、商学部と連携を取り、明確な目的のもと、事業を行っています。

父母会の目的は下記の4つです。

1. 商学部学生の保護者の連携と親睦を図る
2. 商学部の制度及び教育内容の理解を深める
3. 商学部の教育事業を後援する
4. 同志社大学の充実発展に寄与する

上記4つの目的のために下記の7つの事業を行っています。

- ①会員相互間の理解啓発向上と親睦のため必要な活動
- ②大学制度/教育内容を理解するため会議/学習会/講演会等の開催
- ③教育研究上の環境整備のために必要な協力
- ④会報の発行その他会員に対する広報
- ⑤就職活動についての後援
- ⑥同志社連合父母会への連携協力
- ⑦その他、この会の目的達成のために必要な事業

なぜ、父母会は、事業を行うのでしょうか。

いまの大学生は、大学1年生からキャリア形成を意識する傾向が高まっています。インターンシップや起業に挑戦する学生も増え、学びの場が教室にとどまらない時代になりました。また社会では、「一社で一生」から「複数キャリアを歩む人生」への価値観の転換が進みました。経済界は「変化に強く、課題を自ら見つけて行動できる人材」を求めています。同志社大学商学部での学びは、まさにこのニーズに応えるものです。

お子様方が、社会に羽ばたくころには、更に違った景色が広がっているかもしれません。こうした中で、

保護者の役割も変わりました。「大学に入れたから一安心」ではなく、ここからが「子育ての結びの一番」です。いまの「大学生の親としてどうあるべきか」を、言語化出来ていますか？子どもが自立へと進んでいく過程で、親も「学び」を続けなければならない時代です。思春期とは異なる難しさを持つこの時期は、子どもを信じ、適切な距離感で関わるスキルが求められます。そのために親が知るべきことを知る。知っているからこそ、時にそっと背中を押し、時に黙って見守れる。そんな親学を一緒に磨いていきましょう。私たち父母会では、同じ商学部の親として、情報共有や交流をしています。また皆さまが安心して子どもを支えられるように、学べる環境として事業を行っています。

特に大きな事業は下記の3つです。

①父母懇談会

京都を含めて全国7会場で実施します。当日は大学の先生・事務・先輩父母が参加して座談会も行います。学校生活・ゼミ・就活についての最新の活きた情報が得られます。

②父母ための就職セミナー

商学部の学生の就職先や直近の就活トレンドについても知ることができます。就活はここ数年で急激な変化をしています。知ることで親としての準備が出来ます。

③父母のための一日大学です。

同志社の先生から、社会/経済/歴史/文化などについて高レベルの講義をしてもらいます。一緒に知識を高めていきましょう。

また昨年から商学部父母会公式のInstagramとFacebookを準備しました。日々の同志社大学や京都の様子と、父母会からのイベント告知をさせていただいています。ご登録ください。ぜひお気軽にご参加いただき、一緒に大学生の親としての在り方を学び、共に子どもたちの成長を応援してまいりましょう。最後になりますが、私たち父母会は、大学と連携しながら、子どもたちの成長を見守り、支える存在でありたいと願っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

父母会ニュース

2025年度 新入生父母懇談会

4月1日(火) 15時30分より、京田辺キャンパスのデイヴィス記念館にて、入学式が執り行われました。入学式後、16時30分より同キャンパスの知真館2号館201教室にて、商学部新入生のご父母を対象に、「新入生父母懇談会」を開催いたしました。父母会の組織および事業の説明をさせていただき、各支部での活動にご協力いただける方を募りました。

また、商学部長崔 容燾先生より、ご挨拶として商学部における学修の心構えをお話いただき、商学部学生主任 山内 雄気先生より4年間の学生生活と父母としての接し方についてアドバイスをいただきました。

2025年度 父母会定時総会報告

4月26日(土)に今出川キャンパスの至誠館会議室にて、定時総会を開催いたしました。本会役員、全国12支部の支部長およびに崔 容燾商学部長をはじめ教職員を含む31名に出席いただきました。

総会では、父母会長および崔商学部長のご挨拶で始まり、「2024年度事業報告・会計決算報告」の承認後、2025年度役員改選が行われました。その後、新役員による「2025年度事業計画案・2025年度予算案」について審議の結果、承認されました。

2024年度 商学部父母会 収支明細表

自2024年4月1日
至2025年3月31日

収	費	目	予 算	決 算	予算と決算の差
入	会	費	17,600,000	17,057,500	△ 542,500
	委	託 費	1,100,000	1,069,200	△ 30,800
	本	会 払 戻	0	460,000	460,000
	合	計	18,700,000	18,586,700	△ 113,300
支	大学 関係費	資格試験講座	200,000	200,000	0
		学部 援助費	100,000	100,000	0
		学生傷害保険	100,000	100,000	0
		グローバル人材 育成推進事業	500,000	500,000	0
		父母会文庫図書費	100,000	100,000	0
	事業費	学生損害賠償保険費	1,250,000	1,231,480	18,520
		会報発行費	2,600,000	2,803,663	△ 203,663
		留学生図書カード費	250,000	228,000	22,000
		定時総会費	250,000	270,276	△ 20,276
		新入生父母懇談会費	50,000	38,286	11,714
		就職セミナー費	1,100,000	871,117	228,883
		一日大学費	700,000	148,271	551,729
		京都観光	400,000	82,510	317,490
		会議費	1,200,000	941,400	258,600
		事務 関連費	支部活動 活動費	3,400,000	2,260,460
	役員・教員派遣交通費		1,400,000	1,474,303	△ 74,303
	通信費		800,000	696,719	103,281
	職員人件費		3,300,000	3,495,165	△ 195,165
	福利厚生費		550,000	527,963	22,037
	退職金積立金		110,000	110,000	0
パソコンリース費	20,000		21,648	△ 1,648	
印刷費	300,000		192,631	107,369	
消耗品費	60,000		52,201	7,799	
雑費	40,000		55,880	△ 15,880	
慶弔・見舞金	20,000	10,000	10,000		
合 計		18,700,000	16,411,973	2,288,027	
当 年 度 収 支 差 額				2,174,727	
前 年 度 繰 越 金				6,410,692	
繰 越 金 一 部 を 基 金 へ				△ 3,000,000	
次 年 度 繰 越 金				5,585,419	

2024年度 財産明細表

財産合計	次年度繰越金(本会)	5,585,419
	父母会基金	8,005,560
	京都銀行	294,943
	ゆうちょ銀行	15,900
	前受会費金(2025年度分)	3,260,000
	合 計	17,161,822
財産目録 内訳	定期預金	8,000,000
	みずほ銀行出町支店	5,560
	// 利息	5,560
	京都銀行	294,943
	ゆうちょ銀行	15,900
	大学代理事務預り金(残高)	8,845,419
		17,161,822

2025年度 事業計画予算

収 入 の 部		支 出 の 部			
会 費	17,600,000	大学関係費	2,150,000	※「会費」には前受会費金含む	
委 託 費	1,100,000	事 業 費	7,050,000		
		支部活動関連費	5,000,000		
		事務関連費	4,440,000		
		予 備 費	60,000		
合 計	18,700,000	合 計	18,700,000		
(明細一覧)					
大分類	中 分 類	小分類			内容
大 学 関係費	学部援助費	資格試験講座	200,000	資格試験講座受験に対する援助費	
		学生傷害保険	100,000	商学部教育研究傷害保険制度に基づく保険料の一部	
		グローバル人材育成	500,000	商学部科目「海外ビジネスII」にかかる費用の一部	
		父母会文庫図書費	100,000	父母会文庫図書購入	
		学生損害賠償保険費	1,250,000	学生の学研災・賠償責任保険加入に伴う保険料	
	小 計	2,150,000			
事 業 費	会報発行費	3,300,000	会報製作印刷費、原稿アップ起こし依頼費、寄稿者への謝礼、発送委託費		
	新入生入学記念品(会報同封)	200,000	オリジナルグッズ制作		
	留学生図書カード費	250,000	留学生への図書カード		
	定時総会費	300,000	役員交通費、会合費		
	新入生父母懇談会費(入学式)	50,000	役員交通費、会合費		
	就職セミナー費	1,300,000	講演謝礼、会合費、案内発送代		
	一日大学費	250,000	役員交通費、講演謝礼、会合費		
	京都観光行事	200,000	役員交通、案内発送費、その他		
	会議費	1,200,000	本会役員会・支部長会等交通費、会合費		
	小 計	7,050,000			
支 部 活 動 関連費	父母懇談会費	3,200,000	会場、教職員本会役員派遣、支部役員交通費、会合費、記念品代、雑費		
	支部役員会費・支部行事費	1,000,000	父母懇以外支部活動に係る費用		
	通信費	800,000	郵便料、宅急便代、その他案内発送費		
	小 計	5,000,000			
事 務 関 連 費	職員人件費	3,400,000	職員人件費		
	福利厚生費	550,000	職員保障費		
	退職金積立金	120,000	職員退職金積立		
	パソコンリース費	20,000	事務用PCリース料・保守料		
	印刷費	200,000	新入生案内パンフレット、父母会封筒印刷費、行事案内文印刷費、事務作業時印刷費		
	消耗品費	70,000	文具、備品等の購入費		
	雑費	60,000	振込手数料等		
	慶弔・見舞金	20,000	弔電、供花料		
小 計	4,440,000				
予備費		60,000			
		合 計	18,700,000		

学研災付帯賠償責任保険のご案内

商学部父母会では、大学関係費の一部として、学研災付帯賠償責任保険の費用を毎年お支払いしています。商学部の学生は全員保障の対象となり、日本国内外において、学生(被保険者)が正課中、学校行事中、課外活動中又はその往復において、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について、保険金がお支払いされます。詳しいこととお知りになりたい方、また万一の際には、商学部事務室へお問合せください。

2025年度 本会主催事業計画

4月1日(火)	新入学生父母懇談会
4月26日(土)	定時総会（新年度本会役員・支部長、前年度会長、学部）
5月下旬	会報79号発行 成績通知書とともに会員へ郵送
5月下旬	学研災付帯賠償責任保険加入
8月30日(土)	父母のための就職セミナー（今出川キャンパス）
11月下旬	会報80号発行 成績通知書とともに会員へ郵送
1月25日(日)	父母のための一日大学（今出川キャンパス）
2月中旬	2025年度入学試験合格者父母へ父母会案内パンフレット送付
適宜開催	教員父母協議会、役員会

2025年度 各支部父母懇談会(支部総会)日程および会場

日程	支部	場 所
6月7日(土)	京都・大阪・兵庫・東中国・四国・北陸	同志社大学今出川キャンパス(京都)
6月21日(土)	東海	AP名古屋(名古屋)
6月22日(日)	北海道	ACU(札幌)
6月28日(土)	関東	同志社大学東京オフィス(東京)
6月29日(日)	東北	仙都会館(仙台)
7月12日(土)	西中国	広島ガーデンパレス(広島)
7月13日(日)	九州	JR博多シティ会議室(福岡)

※変更がある場合はホームページにてお知らせいたします。

■商学部 都道府県別・支部別 会員数

*ご父母の届出住所(2025年度生については出願書類住所)をもとに集計しています。(2025年4月現在)

都道府県	2025年度	2024年度	2023年度	2022年度以前生	合 計	支部別人数	
京 都	139	139	129	161	568	京都	991
滋 賀	59	59	44	60	222		
奈 良	46	50	45	60	201		
大 阪	227	233	234	283	977	大阪	1,017
和 歌 山	11	10	10	9	40		
兵 庫	130	131	117	164	542	兵庫	542
愛 知	51	36	37	47	171		
岐 阜	9	12	6	12	39	東海	290
三 重	13	12	7	10	42		
静 岡	13	8	7	10	38		
岡 山	11	10	8	15	44	東中国	61
鳥 取	4	5	4	4	17		
広 島	11	9	12	17	49	西中国	76
島 根	1	1	4	4	10		
山 口	4	4	5	4	17		
徳 島	5	5	5	6	21	四国	94
愛 媛	6	7	6	7	26		
香 川	7	8	9	7	31		
高 知	7	5	1	3	16		
福 岡	19	22	18	23	82	九州	166
佐 賀	2	2	3	2	9		
長 崎	3	1	1	3	8		
熊 本	4	4	7	7	22		
大 分	2	2	3	5	12		
宮 崎	3	4	2	2	11		
鹿 児 島	1	3	4	2	10		
沖 縄	4	3	3	2	12		
富 山	2	6	7	3	18	北陸	66
石 川	8	9	5	4	26		
福 井	4	6	7	5	22		
新 潟	3	4	3	5	15	関東	210
茨 城	3	1	3	4	11		
栃 木	3	3	3	5	14		
群 馬	6	7	5	4	22		
埼 玉	3	3	5	2	13		
千 葉	6	4	9	7	26		
東 京	14	11	10	9	44		
神 奈 川	10	8	9	14	41		
山 梨	4	2	0	3	9		
長 野	3	3	1	8	15		
北 海 道	8	8	6	11	33	北海道	33
青 森	3	1	2	2	8		
岩 手	0	2	4	1	7		
宮 城	3	3	8	5	19	東北	53
秋 田	0	2	1	2	5		
山 形	2	3	1	2	8		
福 島	2	1	1	2	6		
その 他	23	18	10	30	81	その他	81
合 計	902	890	831	1,057	3,680	合計	3,680

2025年度 父母会役員

役 職	氏 名
会 長	梁 裕 之
副会長(京都)	山 村 幸 代
// (大阪)	森 井 大 輔
// (東海)	渡 会 尚 弘
// (西中国)	高 橋 雅 彦
監 事(京都)	堀之内 真 夕
// (大阪)	加 藤 幸
理 事(京都)	坂 下 恵 理
// (京都)	小 山 こずえ
// (京都)	中 原 麻 紀
// (大阪)	山 内 幸 枝
// (大阪)	秋 成 剛
// (大阪)	大 矢 麻 紀
// (大阪)	中 司 加寿子
// (大阪)	松 尾 弘 崇
// (兵庫)	澤 井 洸 蕎
// (東海)	北 岡 美 貴
// (東海)	松 木 悟
// (西中国)	立 畠 英 樹
// (九州)	内 田 由紀子
// (関東)	鳴 海 理 枝
// (関東)	若 島 大 輔

2025年度 各支部支部長

支 部	氏 名
京 都	山 村 幸 代
大 阪	森 井 大 輔
兵 庫	澤 井 洸 蕎
東 海	松 木 悟
東 中 国	齋 藤 美 聡
西 中 国	立 畠 英 樹
四 国	林 恵美子
九 州	山 川 香奈子
北 陸	梁 裕 之
関 東	鳴 海 理 枝
東 北	横 戸 由紀子
北 海 道	梁 裕 之

2025年度 顧問・参与(商学部)

役職	氏 名
顧問	学 部 長 崔 容 熏
監事	学 部 教 員 山 内 雄 気
参与	学 部 教 員 (学 生 主 任) 山 内 雄 気
参与	事 務 長 浅 原 純



1月に開催された父母のための一日大学（講義体験）の内容をお伝えします

日米中関係の今後～アメリカ合衆国大統領選挙後の世界情勢～

同志社大学法学部教授 村田 晃嗣

同志社の創立者は新島襄で、今年、同志社は創立150周年を迎えますが、新島襄はアメリカで10年過ごしました。幕末にアメリカに渡って、1874年に帰国して翌年、同志社をつくっています。幕末は海外に行くことは御法度、見つければ死罪という状況の中で新島襄が、なぜアメリカに行ったのか。

新島襄は小さな藩の下級武士の家に生まれました。向学心旺盛で真面目で優秀な若者でしたが、江戸時代のことで下級武士の家に生まれれば、どんなに優秀でも一生、下級武士、自分の人生は父と同じ人生しか送れないと鬱々と暮らしていたところ、江戸の本屋で一冊の本を手に入れました。アメリカの宣教師が漢文で書いた『聯邦志略（れんぽうしりゃく）』という本でありました。この本はアメリカの地理や歴史、政治や経済を簡単に説明した入門書でした。新島襄はこの本を読んで、アメリカ合衆国では一般国民が大統領を選ぶことを知って度肝を抜かれるわけです。新島襄自身の言葉を借りれば「脳味噌がとろけるほど驚いた」。彼の国は一国の最高指導者を一般の国民が選ぶ。信じられない。脳味噌がとろけるほど驚いて「アメリカに渡ろう」と。そしてアメリカをはじめとする西洋文明の根底にある「キリスト教を学ぼう」と思って命懸けで函館から上海、上海からボストン、長い船旅ですが、1年近くの船旅で新島襄を乗せた船がボストンに着いたのは1865年のことですか、彼らの船が港に着くと驚くべきニュースが到来したのであります。

南北戦争が終わっており、なんとアブラハム・リンカーン大統領が暗殺された。これは新島襄だけでなく、乗組員全員が驚愕するわけです。わずか1年ほどの間に新島襄はアメリカ大統領について二度驚かされた。国民が大統領を選ぶアメリカ、その大統領を国民が殺してしまうアメリカという、アメリカの二面性、アメリカの多様性に新島襄は、1年の間に二度も驚かされることになりました。

日本とアメリカとの付き合いは長い長い歴史をもっていますが、アメリカは常に我々を驚かしてきたといってもいいのではないかと。幕末の頃から日米関係の始まりの頃からアメリカは常に我々を驚かせてきた。その意味ではドナルド・トランプが再び選ばれたということくらいで我々は驚いてはいけないうということかもしれない。

ドナルド・トランプとカマラ・ハリス副大統領との間で激戦が闘われ、最後まで接戦だった。どちらが勝つか、わからない。勝敗の行方は当日には判定できないのではないかといわれたのに蓋を開けると意外にもドナルド・トランプの圧勝で激戦州といわれるところも悉くトランプが勝った。しかも連邦議会も上院も下院もトランプと同じ共和党が勝った。議会ですらトランプを止められない。これからもトランプの暴走が止まらない。そんな話をするつもりは全くありません。

第一にドナルド・トランプは全く圧勝しておりません。「トランプ圧勝」などというのは日本のメディアの極めて偏った意見にすぎません。トランプは激戦で接戦で辛うじて勝ったにすぎないのです。アメリカの大統領選挙は複雑で歴史的経緯があり、一般の有権者が選ぶのは大統領ではなく、大統領選挙人を選ぶ。というのは建国当時のアメリカの識字率が低かったから一般の有権者が大統領を選ぶ情報も判断力もない。一般有権者は身近にいる牧師、医者、弁護士など地位と教養のある人たちを選んで彼らが大統領を選ぶ仕組みが今日まで生きているわけです。

全米に大統領選挙人が538人います。人口などによって州ごとに振り分けられているのですが、538人の過半数、270人を超える大統領選挙人をとった側が勝ちだというのがアメリカの大統領選挙のゲームですね。今回の選挙でトランプは312人の大統領選挙人を取り、カマラ・ハリスは226人でした。4年前、バイデンとトランプが闘ってバイデンが勝った時、バイデンがとった大統領選挙人は306人でした。今回、トランプは312人ですから、そんなに違いはない。312人程度で勝ったトランプを「圧勝」というのは大げさに過ぎるということです。

「そんなことをいっても、ペンシルベニアでも、ミシガンでも、ウィスコンシンでも激戦だといわれたのに、トランプが勝ったじゃ

ないか」と。確かに激戦州でトランプは、みな勝ちました。けれども、ペンシルベニアでトランプとハリスとの差を見るとトランプが獲得した得票率の差は1.6%です。その差で勝っているにすぎない。1.6%というのは統計上、間違いなく「誤差」の範囲ですから基本的にトランプは「誤差」の範囲で勝ったにすぎない。これを「圧勝」というのは大げさな議論だと思います。

「でも共和党は議会でも勝った。議会ですら共和党だから誰もトランプを止められないのではないかと。アメリカの議会は上院と下院からなっています。確かに共和党が勝ちました。上院の定数は100人、共和党が勝って53、民主党が47、わずかな差で共和党が多数をとった。下院は全部で435、共和党が多数をとって219、民主党は215、上下両院とも共和党が多数をとっている。おわかりのようにギリギリの僅差でしょう。与党と野党との差は過去100年で最も小さな差です。議会も共和党が多数をとったといっても、いかにギリギリの多数かということです。ということは上院で共和党の上院議員が4人造反したら法律は通らない。下院で共和党が数名造反したら予算が通らない。そういうギリギリの状況で、辛うじて多数を維持しているにすぎない。脆い勝ち方です。

しかもドナルド・トランプ大統領の場合、最大の弱点は4年しかないということです。すでに1期は終わっていますから4年しかない。持ち時間は4年しかない大統領です。世の中にはいい加減なことをいう人がいて「トランプは独裁者だからこの4年の間に憲法を変えて2期8年できるようにするんじゃないか」と。無知蒙昧も甚だしい。合衆国の憲法を変えようとするにはどれだけ手間がかかるか。上下両院で発議して議会の多数の賛同を得て、その後、全米50州のうち3分の2以上の州が賛成しないと憲法改正はできないんですよ。それをやっているうちにトランプの4年は終わります。トランプは1期しかない。

しかも2025年1月末、もう来年11月には中間選挙がある。大統領選挙は4年の一回、その間に中間選挙、議会の選挙がある。一般的には中間選挙では大統領の与党が負けるんです。普通のパターンでは。すでに多くの専門家は「次の中間選挙で共和党は負けるだろう」と見ています。負けるとすれば可能性が高いのは下院です。下院で与野党が逆転して民主党が多数を奪い返すのではないかと。でも、たとえ一人の差であっても下院で多数を野党、民主党に奪われると下院議長は民主党がとりますから下院議長が法案の審議の順番、時間の配分を決めるので、下院議長ポストをとられたら、トランプ政府は予算も法案もまともに通せない。いわゆる「レームダック状況」になる。普通のパターンであれば中間選挙で与党が負けても、さらに2年後の大統領選挙で再選されれば「直近の民意は自分を支持している。議会選挙で負けても他選挙で私は再選されたじゃないか。民意は私を支持している」と強い態度で議会に残る事はできる。だけど、トランプには再選はないんですよ。次の中間選挙が、ドナルド・トランプにとって最後の選挙です。その選挙で負けてしまうと影響力がどんどん後退して何もできないうちに4年が終わってしまう。持ち時間が4年しかない。実質的にいうとトランプの持ち時間は1年11カ月しかない。だからトランプは焦って、どんどん人事を決めて大統領令を乱発して早いうちにいろんなことをしようというわけです。

さてもう一つ、トランプが暴言を重ねています。「メキシコ湾をアメリカ湾に」「パナマ運河を返せ」「グリーンランドを寄越せ」。詐欺師だって巧妙な詐欺師は全部ウソではない。一部、本当のことをいっているから、つい騙されてしまう。トランプの豪言壮語にも、ややそれに近いところがある。全部デタラメだったら無視すりゃいいんですよ。ところがトランプがいうのは一理はある。それが話を複雑にする。世の中、大抵の場合、誰にも一理はあるから、それが物事を難しくする。

「パナマ運河を返還しろ」というのも無茶苦茶なようだけど、パナマ運河を通行している商船の6割から7割が中国国籍になっている。中国の影響力がどんどん膨らんで、パナマはこの間まで台湾と国交を結んでいたのに台湾との国交を断絶して今、中国と国交を結んでいる。「このまま中南米で中国の影響力がどんどん拡大

してもいいのか」という過激な問題提起ですね。グリーンランドも天然資源の宝庫であることはいうまでもないが、北極海に中国とロシアの原子力潜水艦が、うようよして北極海を支配しようとしている。「このまま北極海一円を中国やロシアのような国に好き勝手にさせていいのか」というのが「グリーンランドを寄越せ」という話につながっているわけで、いっていることが全く荒唐無稽ではないところが、トランプの議論の難しいところだと思うんです。

トランプが「文句があるならカナダはアメリカの51番目の州になればいい」と。あれはドナルド・トランプの無知のなせる発言だと思います。もしもカナダがアメリカの51番目の州になれば、カナダの人口は4000万人で、カリフォルニア州と一緒にです。もしもカナダが州になったら大統領選挙で55人が配分される。つまりカナダ州で勝たなければ何人も大統領に当選できないことになる。逆にいうとカナダがアメリカの51番目の州になれば、アメリカは、カナダの言うがままに動かされることになる。こんなありがたいことはない。同じことは日本についても、よくいわれる「日本はアメリカの言いなりではないか。属国だ。日本はアメリカの51番目の州のようなものだ」。そうであれば我が国の人口は1億2000万人ですから我が国には150人の大統領選挙人が配分されて、日本で勝てないとアメリカは絶対に勝てない。ワシントンは、東京の言うがままに動く、こんなありがたいことはない。しかし実際は、そうではないということです。

さて一つ気をつけたいといけなことは、この2025年1月、ドナルド・トランプが2017年1月に大統領に就任した時のドナルド・トランプとは別人だということです。つまり2017年のドナルド・トランプは、いかに有名とはいえ、マンハッタンの所詮はニューヨークの不動産ビジネスで成功した不動産屋であり、そしていかなる行政経験ももっていません。ところが今のドナルド・トランプは、合衆国大統領を4年務めた人物であり、大統領退任後も、この4年間、復権を目指して選挙戦にしのぎを削ってきた。今やドナルド・トランプはいっぱしの政治のプロです。2017年の素人のドナルド・トランプとは違うということです。トランプの経験値は大いに上がっている。トランプは世界中に知り合いがいる。国内政治でも国外政治でも経験値を高めている。トランプの経験値は8年前よりずっと上がっている。その分、危険だということです。

しかし同時に我々の経験値も上がっている。「トランプをどう扱えばいいか、どういえばトランプが喜び、何をすればトランプが怒り、誰を通じればトランプが振り向くのか」と世界中が、トランプについての経験値を高めている。トランプ自身の経験値が上がったこと、トランプに対する世界の経験値が上がったこと、この二つの経験値の競争が、これから展開されるということです。世界が「ドナルド・トランプをどう扱うか」という経験値が上がったといいましたが、実は世界といっても、日本や韓国、カナダ、オーストラリア、イギリス、フランスという国々で「トランプをどう扱うか」という経験値を高めたのと同時に、北京もモスクワもピョンヤンも「トランプをどう扱えばいいか」という経験値を高めている。「どうやってトランプを扱えばいいか」という経験値を日本の方が高めたのか、北京が学習で進んでいるのか、日本と中国、日本とロシア、イギリスとロシアの競争、経験値の競争がこれから展開されるということです。

さてトランプの政策。基本的にドナルド・トランプの政策で彼がやっていることは多くの矛盾を抱えているわけです。一つは、トランプ大統領は関税を上げる。中国には6割の関税をかける。カナダやメキシコには25%の関税をかける。日本のような同盟国には10%の関税をかける。「関税ほど美しい言葉は辞書の中にない」と。関税、関税。脅しです。「アメリカに逆らえば、トランプ政権の意に逆らえば関税をどんどん上げてやる。ざまあみろ」と。トランプ政権は関税が柱になっている。

ところが、もう一方でインフレにどう向き合うかという問題です。なぜ激戦なのにトランプが勝てたのか。一般のアメリカの有権者にとってインフレと不法移民の問題が大きな問題になっている。トランプはそれを巧みに突いたわけです。アメリカには1年間に200万人の移民が入ってきます。合法的な移民です。先進国の中でアメリカだけが人口が減らない。他方、不法移民もいる。総数は統計によってマチマチですが、1000~1300万人いる。1300万人だとすると東京都の人口に匹敵する不法移民がいる。社会問題にならないわけがない。トランプはこれを巧みに突いた。

もう一つがインフレ。マクロでいえばアメリカ経済は今、絶好調です。成長率が高い、失業率は5%くらいでアメリカの水準と

しては低い。インベーションはどんだん起こり、ヨーロッパや日本に比べてアメリカ経済は絶好調。ところがインフレが深刻です。ロシア・ウクライナの戦争が続いている。中東でも戦争が起きている。石油、天然ガスの値段が上がる。小麦の値段が上がる。生活必需品を中心としてインフレが高まっている。率直に言ってインフレがいくら亢進しても、イーロン・マスクにとっては、どうでもいい。ドナルド・トランプにとっても、どうでもいい。マスクやトランプのような大金持ちにとって少々のインフレは関係ない。

今のアメリカは、どれだけ深刻か。トップ0.1%の人が全米の富の13%をもっている。下から5割の人は全米の富の2.5%しかもっていない。恐るべき格差が広がっている。マクドナルドのバーガーが10ドルであろうが、15ドルであろうが、マスクにもトランプにも関係ないんです。たとえマスクのバーガーが100ドルだって彼らにとっては関係ない。年収3万ドルで肩を寄せ合っている一家にとってマスクのハンバーガーが10ドルから12ドルに上がることが、どれほど深刻なことか。卵の値段が50セント上がることが、どれだけ自分たちの生活を直撃するか。インフレは貧困層ほど大きなダメージを与えるわけです。だから多くの貧困層がバイデン政権に失望してトランプに投票した。「この貧困は、このインフレはバイデンのせいだ」と。

ビジネスや経済に通じている方はわかるとは思います。一方「関税を上げるぞ」といって他方で「インフレを鎮静化する」、これは矛盾するわけです。関税を上げたらインフレは亢進するんだから。関税上げたら物価は上がる。インフレを鎮静化しようと思ったらトランプが得意な脅し文句の「関税カード」を使えなくなる。関税だ、関税だといってインフレをどんだん亢進して中間選挙では破れかぶれでトランプは行き止まりになってしまいます。「関税をとるか、インフレをとるか」という大きなジレンマが、トランプ政権の経済政策には待ち構えている。このジレンマを彼は逃れられないと思います。

2番目の矛盾はイーロン・マスクに象徴されるものです。イーロン・マスクを重用する。世界一の億万長者を重用する。イーロン・マスクは基本的に二つの強い信念をもっています。「規制緩和」、徹底した規制緩和することによって彼が狙っているのはAIと宇宙。AIと宇宙でイーロン・マスクの帝国をどんだん拡大していく。規制緩和が大きな目標です。そしてマスクの、もう一つの信念は「科学技術が人類を救う」。科学技術が進歩すればするほど人類の生活は豊かになり、利便性を増し、我々は幸せになっていくという、突き抜けたような科学技術に対する信奉がある。この二つがある。

「規制緩和」はトランプ政権の基本方針と完全にマッチする。だけれどもイーロン・マスクがツイッター、Xを買い取り、人工衛星を打ち上げて帝国を築いているが、イーロン・マスクの帝国の中核になっているのは依然としてテスラであり、テスラは中国を最大のマーケットにしている。トランプ政権の中国に対する厳しい態度と中国を最大のマーケットとして拡大政策をとるイーロン・マスクとは利益の矛盾が生じてくる。中国とどう向き合うのか。イーロン・マスクを抱えたトランプ政権が中国とどう向き合うかは大きな矛盾として突きつけられるわけです。

もう一つは移民の問題。トランプは移民に対して厳しい。移民規制をしようとする。「不法移民は追い出してしまえ」。トランプの支持者の中には「移民を追い出せ、これ以上移民を入れるな」と移民に対して非常に厳しい態度がある。だけれどもイーロン・マスクに代表される新しいタイプのエリート、テクノクラート、大金持ちたちはAIとITで儲けている。そうするともっともってAIとITの技術人材が必要です。アメリカだけでは足りない。もっと安い値段で働く優秀なITのエンジニアをインドや東南アジアから連れてこないといけな。この「IT人材の流入」というビジネスリーダーたちの利益と「移民規制」というトランプを支持している一般大衆の感情との間の矛盾をイーロン・マスクは代表している。

そして3番目にトランプの外交政策について。トランプは「アメリカファースト」といっている。アメリカファースト。結構なことだと思います。それはそうでしょう。どこの国も自国が大事、ジャパンファースト、カナダファースト、各国が自分の国を大事だと思うのは当然のことです。かつて我が国にも憲法9条のもとでは自衛隊は一步たりとも海外に出られず、自衛隊は自国を守る最低限のことしかできない。自国の平和のみに専念すればいい。ジャパンファーストです。戦後日本のリベラルと称する人たちがいついたのは「ジャパンファースト」ですから。「日本さえよければいい。近隣諸国の平和や安全にかかわらない。我が国の平和



と安全さえ守ればいい、それが憲法の趣旨だ」と。ジャパンファーストですか、トランプがっているアメリカファーストといっしょですか。

だけでも各国が「自国が一番大切だ」と思うのは結構なことです。アメリカファーストであってもいいが、「アメリカオンリー」では困る、ジャパンファーストであってもいい。日本の平和と安全を考えるのは大いに結構なことです。しかし日本の平和と安全だけを考えればいいというのは間違っている。東南アジアとも協力し、アメリカとも協力し、ヨーロッパとも協力して世界の安全を、どう増進させていくのか、日本やアメリカのような大国は、それを考えないといけない。アメリカファースト、ジャパンファーストであってもいいが、「アメリカオンリー」「ジャパンアローン」であってはいけないわけです。トランプの問題はアメリカファーストであることではなく、「アメリカアローン」「アメリカオンリー」であること。「アメリカさえ安全であれば、ヨーロッパの安全はどうでもいいんだ。ウクライナの戦争がどうであろうと、台湾海峡なんか、守るわけ、ないじゃないか。8000マイルも彼方だ。なんで韓国を守らないといけないのか。こうなってくるとアメリカファーストを超えて「アメリカオンリー」になってしまう。それは大変困るわけですね。

ところが、ドナルド・トランプにはアメリカよりも大事なものがあつた。アメリカファーストといいながら、それはドナルド・トランプ彼自身です。アメリカファーストとトランプファーストが矛盾する。アメリカファーストでアメリカは外国の平和と安全のためにお金を使いたくない。「ウクライナへの支援はいらぬ。台湾だって守らなくていい。なんでヨーロッパに米軍が駐留しているんだ。朝鮮半島なんて守る必要はない。アメリカ人の若者の命を落として税金を無駄に使うな」とアメリカファーストといつても何もしない。しかし何もしなければ外交業績は上がらない。ところがトランプはトランプファーストだから、歴史に残る業績を上げたい。彼は本気で「ノーベル平和賞をもらいたい」と思っていますから。「ジミー・カーターがもらったのに、オバマがもらったのに、なんで偉大なドナルド・トランプがもらえないのか」、彼は本気で、そう思っている。しかも来年11月の中間選挙以降、選挙で負けて議会在トランプのいうことを聞いてくれなかったら内政ではトランプは大きな成果を上げられなくなる。内政で成果を上げられない大統領は何をするか。外交で成果を上げようとする。議会の束縛の小さい外交で成果を上げようとする。「トランプは外交でこんなことをやった」と世界史の年表に残る。ノーベル平和賞をもらえるかもしれない。「偉大な業績を上げたい」、これがトランプファーストのいうことです。アメリカファーストだったら何もしない方がいい。「アメリカファースト」という姿勢と「トランプファースト」という彼のインセンティブは基本的に矛盾する。特に政権の後半に大きく矛盾してくるだろうと。さまざまな矛盾を抱えたトランプ政権であると。

さらにトランプと世界。今、進行している二つの戦争。ロシアによるウクライナ侵攻。中東での戦争、この二つの戦争に影響を受けることは間違いなくと思います。トランプは「自分が大統領になればウクライナの戦争を1日で終わらせる」といつたけど、終わらない。最近では「6カ月の時間がほしい」といつているけど、解決するかどうか、わからない。ロシアとウクライナの戦争は一時的な休戦になるだけ。両方が納得して終わることはない。一時的な休戦です。その意味で朝鮮戦争だって70何年間休戦しているだけです。法的には戦争状態が続いている。実はロシアがウクライナを侵略した時、あんな戦争が、こんなに長く続くと思つていた人は世界中に、ほとんどいなかった。戦車が国境を越えて侵攻し、ミサイルを発射し、ロケットが飛んで機関銃で撃ちまくって、塹壕に隠れて最後には北朝鮮から兵隊がやってきて肉弾戦で戦う。こんな戦争が3年も続くなつて誰も想定していなかった。21世紀の戦争はドローンが飛んでいき、人が手を下さないで目標を破壊する。あるいはコンピュータを操作することで相手の司令部を動けなくなるようにする。コンピュータとコンピュータの戦いだ。ITとITの戦いだ。ドローンが飛んでいつて戦う。肉弾戦でミサイルが飛び、戦車が戦う、そんな20世紀の戦争が戦われるわけがないと。20世紀半ばかと思うような戦争が3年も続いている。

この戦争で、ロシアはすでに10万人の兵力を失っています。ウクライナは5万人亡くなっています。ロシアの人口は1億4000万人、ウクライナは5000万人、人口比でいうと圧倒的にウクライナのダメージの方が大きく、途方もない被害を出している。ウクライナの国土面積はイラクの1.6倍です。イラク戦争の1.6倍の戦争が戦われている。こんな広大な国土で3年にわたつてミサイルや

ロケットを撃ち続ける戦争が続くなつて想定していなかった。今、世界中で武器弾薬が足りなくなつて生産が追いつかなくなつていきます。アメリカの軍需産業ですらロケットやミサイルの増産が追いつかないんです。ウクライナとロシアで使うことが多いから。ところが世界中で、こういう大規模な地上戦闘が何年も続く可能性があることを前提に武器や弾薬をためこみ、生産し続けていた国が二つだけあつた。それが北朝鮮と韓国です。彼らは第二次朝鮮戦争が起ることを想定して国防を立てているからです。大規模な地上戦争が何年も続くことを前提に彼らは武器弾薬を備蓄していた。だから北朝鮮はロシアに武器を売り、韓国はポーランド経由でウクライナに武器を売る。我々が歴史を、知っている戦争にあてはめて今のロシアとウクライナの戦争を考えると、よく似ているのは朝鮮戦争です。3年を超え、国境を越えて戦われ、どっちが勝つたのか、わからないまま休戦する。朝鮮戦争型になる可能性が高い。

実は朝鮮戦争も3年1カ月と2日で終わつています。ウクライナの戦争も2月に丸3年になる。消耗の度合いから考えれば双方とも途方もない被害を出し、「もうこんな戦争はやつていられない」と両方とも戦うインセンティブが下がっていく意味では、この戦争は休戦に向かうタイミングだった。そこへトランプが登場することによって休戦のアクセルが踏まれることになる。休戦するでしょう。どんな休戦なのかは、わかりません。休戦後、ウクライナの平和と安全を誰が、どうやって守るのか。そのことを真面目に考えなければなりません。口先で平和を語っているだけでは、ウクライナの平和も安全も守れません。実際に何百万人という人が死んでいます。どうやってウクライナの平和と安全を守るのか。この戦争の結果、人口5000万人のウクライナから500万人を超える難民が海外に逃げ伸びている。500万人のウクライナの難民たちを、できるだけ速やかに安全に祖国に帰還させるという大変な事業がある。さまざま課題がウクライナ戦争が仮に休戦したとしても、その先に待ち受けている。

中東。一昨年10月7日、パレスチナの過激派ハマースがイスラエルに攻撃して1200人のイスラエル人を殺し、200人のイスラエル人を誘拐した。それに対してイスラエルが反撃する。イスラエルは自衛行為だとしてパレスチナを攻撃している。確かに自衛行為だとして、アメリカもイスラエルの行動を認めている。そうでしょうね。日本だって1200人の日本人が殺され、200人の日本人が誘拐されたら「何とかしろ」という話になりますから、それは「自衛」だということも無理もない。

この中東での戦争は、確かにイスラエルは攻撃されて自衛行為だったかもしれない。だけでも、それに対する報復として1年数カ月の間にイスラエルは5万人のパレスチナ人を殺している。武器をもたない5万人のパレスチナの民間人を殺してきた。合理的な報復の範囲だといえるのかどうか。しかも5万人は確認できるだけの数字であり、ガザの瓦礫の下では、さらに10万人近くの子どもたちが死んでいるでしょう。こんなことを、これ以上、続けるのか。ウクライナでの戦争が終わるのか、それに中東での戦争も終わっていくのか。ウクライナは終わりに向かうが、中東はサウジが巻き込まれてアラブ首長国連邦も巻き込まれて、というふうには、こつちは戦争が拡大していくのか。両方とも収束していくのか、この二つの戦争がどうなるのかというのが、今後の国際政治の大きなポイントであつて、トランプ政権が、それにどう対応できるかが重要な課題なんですね。

ロシア、ウクライナの戦争と中東での戦争の二つの戦争に共通しているプレイヤーがロシアですね。ロシアはウクライナを侵略している。中東ではシリアのアサド政権を長く支持してきた。イランに協力してきた。二つの戦争に両方かかっているのがロシアです。そしてロシアの背後で支援しているのは中国。さらにイランがおり、今では北朝鮮まで一枚噛んでいる。中国、ロシア、イラン、北朝鮮、これが「反米4人組」国家であり、「ユーラシア連合」ともいいますが、4つの国が、ますます力を増して結束を固めていくのか。それともこの4年間にアメリカやヨーロッパが協力して「反米4人組」国家に楔を打ち込み、弱体化させるのか、という大きなゲームが、これから展開される。

確かにトランプはアメリカファーストで同盟国と協力する気は、あまりないから、アメリカは同盟国と協力して「反米4人組」国家を取り押さえるのは、なかなか難しいと思う。だけど実は「反米4人組」国家も山のような問題を抱えている。中国は「これ以上、ロシアに抱きつかれるのは真つ平ごめん」と思つているわけですから。ウクライナを侵略し、世界の嫌われもの、侵略国家であるロシアに抱きつかれて協力を求められ、中国とロシアは一蓮托

生ということ、いっしょにされて同じように嫌われていくことは迷惑この上ないと思っています。中国も「ロシアに抱きつかれるのは真っ平だ」と思っている。そしてイランも弱体化している。中東での戦争の結果、イスラエルが徹底的にハマースを攻撃し、ヒズボラを攻撃した。ハマースもヒズボラもイランの内部勢力です。イラン、シリアが長年応援してきた独裁者アッサド政権が倒れた。それもイランにとって大打撃です。今、イランは弱体化しています。北朝鮮だって大変です。ロシアに12000人の北朝鮮軍が行って戦っている。かつては麻薬を売っていた、国を上げて。武器も売ってきた。もう麻薬や武器では追いつかなくて、ついに人を売っているわけですよ。自国の国民を戦場に売って金稼ぎをしているんですから。北朝鮮がいかに追い詰められた状況か。中、ロ、イラン、北朝鮮という「反米4人組」国家も脆弱な状況にある。アメリカを中心とした西側諸国と「反米4人組」、どちらが、より弱いのかという弱さの競争が、これから4年間、展開していくのと思うます。

さて、そういう世界情勢の中でトランプ政権と我々はどう向き合っていくのか。4つのことを申し上げたいと思います。

第一に、アメリカの大統領って、クリントン大統領が2期8年、オバマ大統領も2期8年務めた。大統領は憲法上、2期8年やると。よほど悪い大統領、業績の悪い大統領で、大変なインフレとかで再選されなかったとか、軍事作戦に巻き込まれて人気が下がって再選されなかったという例はあるにはあるが、基本的には「アメリカの大統領は2期8年やるのが当然だ」と思ってきた。最近、目撃しているのはトランプが1期やったら1期でだめだ、バイデンが出てきてバイデンもダメだ。今度はトランプがまた出てくるが、4年しかできない。1期限り的大統領が次々に交代していく。トランプは圧勝なんかしていない。激戦だった。わずか1.6%の投票率の差で勝ったにすぎない。アメリカの国民が、どんどん分断していくとするならば、合衆国の大統領は8年務めるのが当然ではなく、これからは1期4年ごとに大統領が頻りに交代していく、継続性のない不安定な政治にアメリカは陥っていくのではないか。そう考える方が、あたりまえになってくるのではないか。もし、そうだとするとアメリカの大統領が原則4年ごとに交代する。選挙のたびに挑戦者は前職の大統領の悪口を、口を極めて「現職は無能だ、現職だからインフレになったんだ、現職だから戦争になる、現職だから国内が混乱するのだ」と散々悪口をいって、自分が大統領になったら何もできず、また散々悪口をいわれて辞めていく繰り返し、有権者は誰かを選んだら、すぐに飽きて「こいつはダメだ」というので次の人を選び、また「ダメだ」と次の人を選ぶ。民主主義が、どんどん思慮が浅くなっていく。気まぐれになっていく。わずか1.6%の差で大統領が決まっていく。もしそれがアメリカ政治の状態だとすれば、我々がアメリカとの関係を考えないといけない。今は共和党が政権だけど、トランプ政権と仲良くやっていくしかない。その時、野党である民主党とも手を握っておく必要がある。なぜならば野党は4年には帰ってくるから。もし民主党が政権に復帰したら、その時の共和党とパイプをつないでおく必要がある。アメリカとは、時の政権与党と野党に対して二重の外交を本格的に展開する、二重外交を、したたかにやるという覚悟を日本のような同盟国は、アメリカに対してもたなければいけないということが1点目です。

2点目は、泣いても笑っても、ドナルド・トランプは4年後に必ず辞める。今、トランプは78歳です。4年後には82歳になります。4年後にアメリカの大統領に当選する人が50歳であれば、アメリカの大統領は32歳、若返る。今までアメリカの政治が一度も経験したことがないような大きな世代交代が、アメリカ政治を襲おうとしている。大統領が30歳若返ればアメリカの政界全体が若返ります。政界が若返れば政治家に仕える官僚たちも若返ります。政治家と官僚が若返れば彼ら取材するジャーナリストたちも、ビジネスのリーダーたちや学会のリーダーたちも大きな世代交代によってアメリカ社会を変えていく。日本社会はその大きな世代交代に対応できるかが大きな課題として我々に突きつけられている。これが2点目。

3点目は、大統領がいて議会がある。もう一つアメリカを考える上で忘れてはならないのは地方の力。アメリカの地方分権、地方自治の力。トランプはまた「パリ協定から離脱する」といいましたが、かつて2017年にトランプが「パリ協定」から離脱した時、トランプの有名な演説で「私はピッツバーグの市民のために選ばれたのであってパリの市民に選ばれたのではない。だからパリ協定から離脱する」と。ピッツバーグはたとえでいっているわけです。「アメリカのどこにでもある中小都市、そこで鉄鋼をつくり、

自動車をつくり、半導体をつくらしている真面目な労働者たち、彼らの生活を守るために私は大統領になったのであって、パリやロンドンで地球温暖化とか、LGBTの人権を考える連中は関係ない。だからパリ協定から離脱する」と。ところがトランプが、そう言うと、翌日、ピッツバーグの市長が記者会見を開いて「ピッツバーグ市はパリ協定を守る」といったんですよ。そうするとワシントン州が、カリフォルニア州が、マサチューセッツ州が、ニューヨーク州が「パリ協定を守る」と言い出して、ハーバード大学が、イエール大学が、スタンフォード大学が、コロンビア大学が「パリ協定を守る」と。トランプ大統領の連邦政府が、パリ協定から離脱したところで米最大の規模をもつカリフォルニア州とニューヨーク州の州政府が「パリ協定を守る」以上、実質的に、ほとんどのアメリカの企業はパリ協定に縛られる。これがアメリカの地方の抵抗力です。ということでアメリカのワシントン政治だけではなく、地方の政治も見なければならぬ。私たちは関西や地方に住んでいて、政治家でも外交官でもない一般の市民で東京以外の地方に住んでいる者は、日米関係と関係がないのだけど、私たちが住んでいる自治体がアメリカの地方都市と姉妹都市だった。勤めている企業がアメリカの地方で直接投資をして雇用創出をしている。地方と地方とのつながりが、実は日米関係に大きな意味をもっている。我々も日米関係を維持していく応分の責任があるのと思うます。

4点目。最後にトランプ大統領と石破首相と相性が合うのかと、メディア的にいわれます。石破氏は真面目な方で勉強熱心だし、誠実な方です。個人としてトランプ大統領と石破氏が合うのか、わかりません。トランプは「思いつき」の大統領です。石破さんは「思い込み」の総理大臣です。「思いつき」の大統領と「思い込み」の総理大臣は相性が合うわけがない。

個人の相性は別にして、この問題を真面目に考えると、ドナルド・トランプにとって、なぜ晋三はよかったのか。いっしょにゴルフをした。最初にトランプタワーに行ったから？ 安倍さんがトランプと何回もゴルフコースを回ったということで「安倍晋三はトランプにゴマをすっている」という人もいますが、日米の首脳がゴルフをやることは、すごい意味があるんです。テニスじゃダメ、卓球でもダメ、ゴルフが大事。なぜならゴルフは何よりも相手の時間をとるスポーツだから。ゴルフでワンコース回るとは合衆国大統領の時間を2時間とることになる。その間に耳に囁ける。合衆国大統領とプレイの間に話せるんです。テニスやヨット、他のスポーツでは無理です。日本の首相がアメリカ大統領とゴルフをするのはゴマをすっているのではなく、そんな安直な話ではなく、政治は時間を奪うゲームですから。重要な人物、VIPの時間を、どれだけとれるか。国会の予算審議の時間を、どれだけ潰せるか。これで政治が変わります。ゴルフを日米の首脳がやるのは大事なことです。なぜ晋三が信頼されたか。単純にいえば安倍晋三が強いリーダーだったから。トランプは強いリーダーが好きなんです。彼はディールの人ですから取引ができないといけません。だからプーチンが好きで習近平が好きで、金正恩が好きなんです。独裁者でもいい。プーチンが「ダー」といえばロシアの議会は関係ない。習近平が「ウン」といえば中国のSNSが、なんと批判しようが、関係ない。約束した通りになる。安倍さんは独裁者ではないですが、当時の安倍内閣の権力基盤を考えると自公連立が衆議院で3分の2の多数派をもっている。自由民主党の中で安倍派は100人の国会議員を抱えている。圧倒的に強いリーダーで、晋三が「任せてくれ」というと日本は、その通りになる。だから晋三は信頼された。そう考えると今、石破さんが置かれている状況、総理のお人柄や見識は別にして衆議院で自公が過半数をもっていない。予算が通せるかどうかわからない。自民党の中で石破さんが権力基盤をもっていない。トランプはビジネスライクな政治家でディールだと。持ち時間が4年しかない。実際は1年11カ月しか持ち時間が無い。このトランプが投資家として石破茂に投資するかというと、多分、多くを投資しようとは思わない。とすれば、どうするか。来るべき7月の参議院選挙までに日本の政治が、どの程度、安定しているか。さらに混乱に向かうのか。日本の政治の安定度が、トランプとアメリカと向き合う上で我々にとって、さらに重要なことだと申し上げまして、お約束の時間になりましたので、これで終わらせていただきます。どうもご静聴、ありがとうございました。

商学部ご父母の皆様へ

商学部長 崔 容熏



ご父母の皆様、はじめまして。商学部長の崔 容熏と申します。このたびは、お子様の同志社大学商学部へのご入学、誠におめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げますとともに、学生の皆さんがこれからの4年間を通して大きく成長されるよう、全力でサポートしてまいります。

同志社大学では、近年著しく進展した情報通信技術を積極的に活用し、2024年度より「DO-WEEK」と呼ばれる新たな学年暦を導入いたしました。この制度では、13週の対面授業に加え、残り2週分の授業をオンデマンド形式で受講することが基本となります。その結果、夏および春季休暇が拡充され、フィールドワークや各種実習、インターンシップ、ボランティア活動など、主体的な学びの機会がさらに広がる見込みです。また、海外留学プログラムへの参加機会も増えることが期待されています。

不確実性の高い現代社会においては、複眼的な知識と多様な経験が不可欠です。商学部では、新入生の皆さんが多様な価値観や知識に触れる機会を最大限に提供できるよう、教育環境の充実に努めてまいります。ご父母の皆様におかれましては、何卒ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

商学部父母会は1971年に発足し、本年で54周年を迎えます。これまでの長い歴史の中で、資格試験講座の開講、父母会文庫の設置、保険加入への補助など、さまざまな形で学生生活と教育環境の充実にご尽力いただきましたこと、心より御礼申し上げます。特に昨年度は、扶桑館の教室に設置されているプロジェクター更新のために多大なご寄付を賜り、重ねて深く感謝申し上げます。

父母懇談会では、商学部の教職員も参加させていただき、ご父母の皆様と直接お話しできる貴重な機会となっております。また、同志社大学の近況や商学部の現状をご報告するとともに、カリキュラムや就職活動の状況についてもご説明申し上げます。

コロナ禍においては、ご父母の皆様と直接お会いする機会が制限され、ご不安やご心配も多かったことと存じますが、2023年度より従来の形式での面談・懇談会を再開できたことを、大変嬉しく思っております。今年度も6月から7月にかけて、今出川キャンパスを含む全国7ヵ所にて支部父母懇談会を開催予定です。お子様の学習状況に関するご相談や、大学・学部へのご要望を伺う大切な場として活用いただければ幸いです。

1875年に新島襄が創設した同志社英学校を前身とする同志社大学は、今年で創立150周年を迎えます。同志社は、学問の探究とともにキリスト教精神に基づく徳育を重んじ、自主自立の精神と国際的な視野を備えた人物の育成を教育理念としています。

新島は「同志社大学設立の旨意」において、大学の役割は単なる学問の教授にとどまらず、学生の個性を涵養し、品行と精神を磨くことで「良心を手腕に運用する」人物を育成することであると述べています。この精神のもと、同志社は自由と伝統に満ちた学風を築いてきました。

商学部もまた、1922年に設立された同志社専門学校高等商業部を起源とし、1949年の新制大学設立を経て、今年で103年目を迎えます。次の100年に向けて、新たな一歩を踏み出したばかりです。商学部の卒業生は各界の第一線で活躍しており、こうした人的ネットワークを活かすことも、これからの重要な課題と考えています。

商学部では、国内外の企業や産業が直面する多様な課題を理解する力を育成するため、幅広い知識と深い洞察に基づいたカリキュラムを編成しています。同時に、キャンパスで多様な学生が交流し、異なる価値観や考え方に触れることも、大学教育の重要な一環です。

商学部は、知的能力のみならず、良心と徳性を兼ね備えた人物を育む教育の実現をめざし、日々取り組んでいます。ご父母の皆様には、今後とも温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

大学の学びは役に立つか

学生主任 山内 雄気



先日、知人から子供の大学進学について相談を受けました。就職のことを考えれば大卒のほうが優位だ、とその知人は考えているようでした。ところが、就職先確保の問題を気にする一方で、大学で学ぶことの意義については、ほとんど注意を払っていませんでした。大学教員としては、大学の学びそれ自体の意義も理解してもらいたいと感じています。大学で学ぶことの意義は何でしょうか。少し考えてみたいと思います。

はじめに、大卒就職率の変遷を確認してみましょう。日本の大卒就職率は、経済環境の変動を受けながら変化してきました。昭和初期の日本では、大卒者はエリートであり、その8割強は大企業を中心に就職していました。ところが、1920年代に就職率は下がりはじめます。「大学はでたけれど」という言葉が雑誌や新聞に登場し、いわゆる昭和恐慌期の1930年前後になると、大卒就職率は3割にまで減少します。戦後しばらく状況は好転し続け、1990年代に大卒就職率は80%に到達しますが、バブル崩壊後の2000年に就職率は約50%にまで下がります。この状況と比較すると、現在の大学生は恵まれています。2025年春時点の大卒就職率は90%を越えているからです。上記の歴史的経緯を踏まえつつ、ここ20年の就職率の上昇という点にしばって考えると、私の知人が子供に大学へ進学するように促すことはもっともな指摘なようです。

次に、学生は、大学でどんな能力を習得しているのでしょうか。私は、大学の学びは、インプット・スループット・アウトプットの3つの要素で構成されていると考えています。これら3つの要素はいずれ社会に出たときに役立つ武器となります。インプットは、多様な知識体系を身につけることです。主に講義で提供される学術的な知識を想定していただければよいと思います。これまで知らなかった知識は、様々な意思決定の「引き出し」として利用することができます。スループットは、考える力を涵養することです。演習の輪読や討議、卒業論文の執筆を通じて習得できる「粘り強く考え続ける姿勢」と言い換えてもよいでしょう。アウトプットは、演習や

講義でのプレゼンテーションによって培われる「人に伝える力」です。相手に伝えられなければ、多様な意見を持っていても宝の持ち腐れになってしまいます。

こうした大学の学びについて、社会人になった卒業生はどう感じていたのでしょうか。卒業して10年ほどたった2人の元ゼミ生に尋ねたところ、次の返信をもらいました。

私は新規ビジネスを立ち上げ、会社経営をしています。まだ誰も気づいていない価値を発見できるか、これは新規事業を生み出す上で、最も重要なポイントです。大学で学んだこの洞察力は、起業したときも、さらには日々の会社運営にも、大いに役立っています。ゼミの卒業研究で取り扱った企業ともビジネスをはじめました。大学の学びは、ビジネスや社会を創造するための第一歩になります。

自ら考え、説明する力は、社会人に最も求められる能力です。ところが、社会に出てからそれを体系的に学ぶ時間はありません。だからこそ学生時代に時間をかけて鍛え上げる必要があります。学生時代に腰を据えてアカデミックに考えることに粘り強く取り組んだ経験は、紛れもなく私の武器となっています。

改めて大学の学びについて見つめ直してみると、2人とも大学の学びが自身の血肉となっていたことに気が付いたと言います。学生時代は、なかなかそのことには気がつかないものです。私もそうでした。大学の学びは100年を超える先人の積み重ねの成果です。大卒就職率はそうした積み重ねを反映し、時に上下動しながら現在の割合に到達したのかもしれませんが。就職率の背後であり意識されにくい大学の学びを充実させるため、これから教職員一同で学生と向き合っていきたいと思えます。

学業履修について

大学は、高校までとは違い、学生が時間割を自分で決めます。これは、大学という場が単に与えるだけの場ではなく、学生一人ひとりが異なる目的に沿って得たい知識や教養を習得し、人格形成をも含めた成長を自ら求める場であるからです。

商学部では、様々な企業活動を分析するために、経済・歴史、商業・金融、貿易・国際、企業・経営、簿記・会計の5つの専門科目群を配置し、それらの専門領域を体系的に学ぶことができるようにしています。また、専門知識を深めるかわら、広い教養も身につけることができるよう、商学部が開講する授業のほか、他学部が開講している授業や教養分野の科目、外国語、体育などとても広い分野から授業を選択できるシステム（以下、「カリキュラム」と言います）を設けています。

学生には、カリキュラムの仕組みや授業科目の登録方法などについて、『履修要項』や「DUET」と呼ばれるWebを利用した学修支援システムなどでお知らせしています。また、商学部事務室の窓口では、科目履修をはじめ学生生活を送る上での相談に応じています。

ここでは、2013年度以降生のカリキュラムについて、ご父母にもその概要をご紹介します。

I. 科目履修

1. 卒業するために必要なこと

商学部を卒業するためには、4年以上在学し（ただし、休学等を除く）、卒業必要単位である126単位以上を修得しなければなりません。商学部では、2013年度より「商学総合コース」と「フレックス複合コース」の2コース制を導入しており、各コースでの卒業必要単位の内訳は下記のとおりになります。この内訳にしたがって各コースで必要とされる単位数を修得することになります。

卒業に必要な要件を満たしますと、学士（商学）の学位が授与されます。

[商学総合コース]（数字は単位数）

1類	導入科目	4単位以下		
2類	入門科目	4科目登録必修	6単位以上	6
3類	学系基礎科目Ⅰ	5科目登録必修	8単位以上	8
	学系基礎科目Ⅱ	各学系から2単位以上		10
4類	学系展開科目	主学系4単位以上、副学系4単位以上		20※1
5類	実践科目			
6類	専門外国語科目			2
7類	演習科目	演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		
8類	隣接科目			
9類	教養科目	全学共通教養教育科目		12以上
10類	外国語科目	外国語教育科目から2カ国語選択		各8
11類	自主選択科目	他学部設置科目等		18以下
		合 計		126以上

※1 選択した主学系・副学系から合計20単位以上を履修すること。

[フレックス複合コース：専門特化型]（数字は単位数）

1類	導入科目	4単位以下		
2類	入門科目	4科目登録必修	6単位以上	6
3類	学系基礎科目Ⅰ	5科目登録必修	8単位以上	8
	学系基礎科目Ⅱ	各学系から2単位以上		10
4類	学系展開科目	主学系10単位以上		10
5類	実践科目			20※2
6類	専門外国語科目			2
7類	演習科目	演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		
8類	隣接科目			
9類	教養科目	全学共通教養教育科目		12以上
10類	外国語科目	外国語教育科目から1カ国語選択		8以上
11類	自主選択科目	他学部設置科目等		36以下
		合 計		126以上

※2 4類学系展開科目のうち、選択した主学系科目のみが20単位に算入される。

[フレックス複合コース：副専攻型] (数字は単位数)

1類	導入科目	4単位以下			
2類	入門科目	4科目登録必修	6単位以上	6	
3類	学系基礎科目Ⅰ	5科目登録必修	8単位以上	8	
	学系基礎科目Ⅱ	各学系から2単位以上		10	
4類	学系展開科目	主学系10単位以上		10	
5類	実践科目				
6類	専門外国語科目			2	
7類	演習科目	演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
8類	隣接科目				
9類	教養科目	全学共通教養教育科目		12以上	
10類	外国語科目	外国語教育科目から1カ国語選択		8以上	
11類	自主選択科目	他学部設置科目(副専攻パッケージ科目を含む)等		36以下*3	
合計				126以上	

※3 選択した副専攻パッケージから10単位以上を修得すること。

2. セメスター制度について

商学部ではセメスター制度を導入しています。セメスター制度とは、「1年間を春学期と秋学期に分け、それぞれの学期で完結する授業を行い、成績評価も学期ごとに行う制度」のことで、大学入学から卒業までの4年間で、8つのセメスターに分け、セメスター毎に科目履修と成績評価を行います。

学生には、各学期の終了後(年2回)に成績通知書をお渡ししています。商学部父母会では、会員のご父母にも成績通知書を父母会報とともに年2回、ご自宅に郵送でお届けします。

3. 商学部のカリキュラム

商学部では、体系的・段階的に学んでいただけるよう、「科目群」や「履修条件」「履修年次」などを設けています。「商学部履修体系(標準的年次別履修例)」、「商学部カリキュラムの概要」は12・13頁のとおりです。

II. 科目登録について

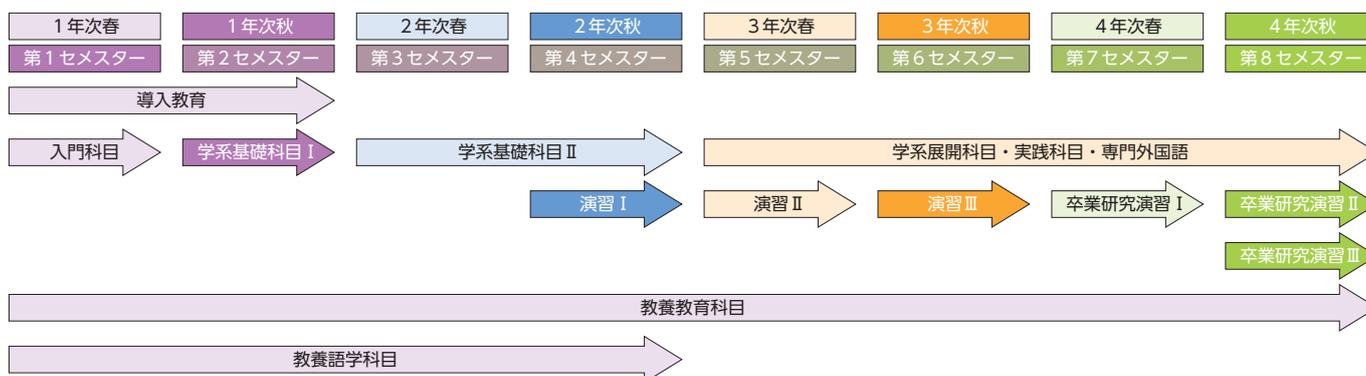
まず、学生は、前述のⅠ等にしたがって受講したい科目を選択して履修計画を立てます。次に決められた期間に決められた方法により科目選択の意思表示をする必要があります。この手続きを「科目登録」といいます。「科目登録」をしなければ授業は受けられません。

1. 登録単位数の制限

科目登録は、各学期において最高・最低登録単位数の範囲内で行わなければなりません。また、1年間の最高登録単位数を超えることはできません。

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
年間最高登録単位数	40		44		40		48	
学期最高登録単位数	30	30	34	34	30	30	46	46
学期最低登録単位数	10	10	10	10	10	10	2	2

■ 商学部履修体系 (標準的年次別履修例)



学業履修について

■ 商学部カリキュラムの概要 5学系

商 学 部 専 門 科 目	導入科目	アカデミック・リテラシーⅠ					アカデミック・リテラシーⅡ					ビジネス・トピックス														
	入門科目						簿記学Ⅰ・Ⅱ																			
							基本統計学																			
							現代ビジネス																			
	学系基礎科目Ⅰ	経済学					商業学					国際経済学					経営学					会計学				
	学系基礎科目Ⅱ	ミクロ経済学					流通論					貿易論					経営管理論					簿記学Ⅲ				
		マクロ経済学					マーケティング論					貿易業務論					経営組織論					工業簿記Ⅰ				
		計量経済学					金融論					国際金融論					経営戦略論					財務会計論				
		商業史					証券論					国際商取引論					経営史					監査論				
	学系展開科目	経済変動論 市場と人間 経済統計分析 戦略の経済学 日本商業史 現代商業史 オペレーション・リサーチ					商品学 観光論 交通論 物流システム論 消費者行動論 マーケティング・リサーチ 貨幣論 銀行論 金融政策論 ファイナンス論 企業金融論 保険論 リスクマネジメント 金融システム論 [15年度生～] 商業・金融のための統計数理 [13、14年度生]					世界経済論 現代国際金融 経済統合論 欧米経済論 発展途上国経済論 アジア経済論 国際ビジネス・コミュニケーション論 国際電子商取引論 貿易契約論 貿易外国語（英語） [22年度生～] 貿易外国語（英） [13～21年度生] 貿易外国語（中国語） [22年度生～] 貿易外国語（中） [13～21年度生]					労務管理論 生産管理論 現代企業論 ソーシャル・マネジメント論 [22年度生～] 公企業論 [13～21年度生] 中小企業論 経営分析論 経営統計論 ビジネス・リサーチ 国際経営論 技術経営論 事業システム論 コーポレート・ガバナンス論					簿記学Ⅳ 工業簿記Ⅱ 財務諸表論 制度会計論 情報会計論 管理会計論 原価計算論 税務会計論 国際会計論 財務諸表監査 財務諸表分析				
	展開科目	展開特講科目					展開特講科目					展開特講科目					展開特講科目					展開特講科目				
	実践科目	実践科目																								
	専門外国語科目	外国書講読（英語）※2021年度以前生：外国書講読（英） 外国書講読（他） Business English 専門外国語特講																								
	演習科目	演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅰ					演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅱ					演習Ⅲ 卒業研究演習Ⅲ														
隣接科目	経済・法律科目																									
教養科目	全校共通教養教育科目（一般教養・語学・体育）																									
自主選択科目	大学コンソーシアム京都単位互換科目等																									

2. 科目登録の方法

学生が、「DUET」というWEB上の学習支援システムを利用して行います。

科目登録には、先行登録（外国語など、クラスの定員が決まっている科目などについては、クラスを決めるために、一般の科目登録に先行して登録期間が定められている）と一般登録（登録のための選考をする必要のない一般の科目登録）があります。各登録期間については、学生に配布する『登録要領』やDUET、掲示板などでお知らせしています。

3. 「登録科目確認」と「登録エラー修正」

学生には、授業開始後1週間程度で「登録科目確認表」を配付しています。また同時に、同じ時間に複数の科目を登録したような場合に生じる「登録エラー」もお知らせします。登録エラーを修正せずに放置すると強制削除されますので、商学部事務室にて修正する必要があります。

4. 「履修中止」について

授業開始から1ヵ月程度、授業を受けてみて、「自分の思っていた内容と違う」「望ましい評価が得られそうもない」という場合は、その科目について、定められた期間中に、一定の条件のもとに履修を中止することができます。

Ⅲ. 成績評価について

同志社大学では、成績評価制度としてGPA制度を導入しています。この制度は、現在、国際的にもっとも認知度が高く、日本の大学においても標準的成績評価制度として、近年急速に普及しつつある制度です。GPA制度導入の目的は、大学教育の国際競争環境に関する教員と学生双方の自覚を高め、GPAを核とした的確な履修指導や学習支援システムを充実させることにより、学生の自立的な自己教育を支援し、本学の教育を質的に一層向上させることにあります。

1. GPA制度の概要

各科目の成績評価を以下の判定基準に従い、5段階（A、B、C、D、F）で評価し、各成績評価段階に4.0～0.0の評点（GradePoint）を付与して、1単位あたりの評定平均値（GradePointAverage）を算出する方法です。GPAは、不合格を意味するF評価の成績を含めて以下の計算式で算出します。

〈GPAの評価基準〉

評価	評点	判定内容
A	4.0	特に優れた成績を示した
B	3.0	優れた成績を示した
C	2.0	妥当と認められる成績を示した
D	1.0	合格と認められる最低限度の成績を示した
F	0.0	合格と認められるに足る成績を示さなかった

〈GPAの算出方法〉

$(A \times 4.0 + B \times 3.0 + C \times 2.0 + D \times 1.0 + F \times 0.0) \div (A + B + C + D + F)$

※A～D、Fは、A～D、Fの評価がついた科目の単位数の合計

成績通知書には履修したすべての科目の評価とGPAが記載され、成績証明書には不合格科目を除く履修したすべての科目の評価とGPAが記載されます。

2. 成績評価の書き換えについて

GPA制度では、F（不合格）評価を得た科目によって下がった全体の評価（GPA）を挽回するため、F評価を得た科目を再履修してD評価以上を得た場合、直近のF評価を新たな評価に書き換えることができます。

※注意：成績を書き換えられない科目もあります。

《例》

●再履修回数1回の場合

初履修	履修年度	科目名・クラス	評価	→	GPA算入
	2025	経済学-1	F		されない
再履修	2026	経済学-2	C	→	される

学業履修について

●再履修回数 2 回の場合

初履修	履修年度	科目名・クラス	評価	→	GPA 算入 される
	2025	経済学-1	F		
再履修 1 回目	2025	経済学-2	F	→	されない される
再履修 2 回目	2026	経済学-3	C		

3. 成績評価をサポートする制度について

GPA 制度のもとでは、成績評価について厳格に運用することが求められていますので、授業クラスごとの評点の平均値や分布、授業講評を公開しています。

また、前述しました登録科目の「履修中止」制度のほか、大学は学生から授業内容・授業方法に関する改善の要望や成績評価に関する質問・異議申し立てを受け付ける「クレーム・コミティ制度」や、病気などやむを得ない事由により試験を受験できなかった場合の「追試験制度」などが設けられています。

いずれの制度も手続きの期間は定められていますので、学生には「DUET」や掲示板などでお知らせしています。

■ 参考資料 成績分布 2024年度秋学期終了時点

2024年度生（2年次生）892人

2023年度生（3年次生）833人

2022年度生（4年次生）895人

【全科目GPA】

平均点	人数	%	累計	累計%
3.80以上	44	4.93	44	4.93
3.60-3.79	64	7.17	108	12.11
3.40-3.59	95	10.65	203	22.76
3.20-3.39	102	11.43	305	34.19
3.00-3.19	98	10.99	403	45.18
2.80-2.99	105	11.77	508	56.95
2.60-2.79	73	8.18	581	65.13
2.40-2.59	78	8.74	659	73.88
2.20-2.39	52	5.83	711	79.71
2.00-2.19	42	4.71	753	84.42
1.80-1.99	37	4.15	790	88.57
1.60-1.79	36	4.04	826	92.60
1.40-1.59	24	2.69	850	95.29
1.20-1.39	13	1.46	863	96.75
1.00-1.19	13	1.46	876	98.21
0.80-0.99	4	0.45	880	98.65
0.60-0.79	4	0.45	884	99.10
0.59以下	8	0.90	892	100.00

平均点	人数	%	累計	累計%
3.80以上	18	2.16	18	2.16
3.60-3.79	43	5.16	61	7.32
3.40-3.59	76	9.12	137	16.45
3.20-3.39	92	11.04	229	27.49
3.00-3.19	92	11.04	321	38.54
2.80-2.99	89	10.68	410	49.22
2.60-2.79	84	10.08	494	59.30
2.40-2.59	65	7.80	559	67.11
2.20-2.39	71	8.52	630	75.63
2.00-2.19	64	7.68	694	83.31
1.80-1.99	51	6.12	745	89.44
1.60-1.79	29	3.48	774	92.92
1.40-1.59	13	1.56	787	94.48
1.20-1.39	16	1.92	803	96.40
1.00-1.19	9	1.08	812	97.48
0.80-0.99	3	0.36	815	97.84
0.60-0.79	8	0.96	823	98.80
0.59以下	10	1.20	833	100.00

平均点	人数	%	累計	累計%
3.80以上	12	1.34	12	1.34
3.60-3.79	43	4.80	55	6.15
3.40-3.59	60	6.70	115	12.85
3.20-3.39	77	8.60	192	21.45
3.00-3.19	98	10.95	290	32.40
2.80-2.99	104	11.62	394	44.02
2.60-2.79	113	12.63	507	56.65
2.40-2.59	113	12.63	620	69.27
2.20-2.39	88	9.83	708	79.11
2.00-2.19	70	7.82	778	86.93
1.80-1.99	43	4.80	821	91.73
1.60-1.79	30	3.35	851	95.08
1.40-1.59	21	2.35	872	97.43
1.20-1.39	8	0.89	880	98.32
1.00-1.19	3	0.34	883	98.66
0.80-0.99	3	0.34	886	98.99
0.60-0.79	3	0.34	889	99.33
0.59以下	6	0.67	895	100.00

【全科目修得単位数】

単位数	人数	%	累計	累計%
40以上	412	46.19	412	46.19
35-39	304	34.08	716	80.27
30-34	115	12.89	831	93.16
25-29	28	3.14	859	96.30
20-24	12	1.35	871	97.65
15-19	10	1.12	881	98.77
10-14	4	0.45	885	99.22
9以下	7	0.78	892	100.00

単位数	人数	%	累計	累計%
84以上	199	23.89	199	23.89
79-83	245	29.41	444	53.30
74-78	158	18.97	602	72.27
69-73	71	8.52	673	80.79
64-68	67	8.04	740	88.84
59-63	27	3.24	767	92.08
54-58	19	2.28	786	94.36
49-53	10	1.20	796	95.56
44-48	11	1.32	807	96.88
39-43	8	0.96	815	97.84
34-38	8	0.96	823	98.80
33以下	10	1.20	833	100.00

単位数	人数	%	累計	累計%
124以上	44	4.92	44	4.92
119-123	238	26.59	282	31.51
114-118	232	25.92	514	57.43
109-113	103	11.51	617	68.94
104-108	94	10.50	711	79.44
99-103	44	4.92	755	84.36
94-98	38	4.25	793	88.60
89-93	25	2.79	818	91.40
84-88	20	2.23	838	93.63
79-83	13	1.45	851	95.08
74-78	8	0.89	859	95.98
73以下	36	4.02	895	100.00

成績通知書の見方

- * 成績通知書は、春（5月下旬）、秋（11月中旬）の年2回商学部から送付します。
2023年度以降生は学生の同意書の提出が必要となります。学生の同意なしにご父母に成績通知書をお送りする事は出来ません。
- * 「学業履修について」「成績通知書の見方」（11項～16項）は、秋送付の通知書でも参照いただけますので、それまでこの会報（No.79）は保管ください。
- * 各支部の父母懇談会で成績の事でご相談されたい方（2年次生以上）は、今回送付の成績通知書を当日、必ずご持参ください。
- * 本人・父母住所・氏名に誤り・変更がある場合は、商学部事務室にご連絡ください。

2013年度以降生

現在登録履修中の科目です。

それぞれの科目を履修した年度

合格評価で書き換えられた不合格評価であることを示します。

成績通知書の見方											
履修年度	期間	科目名(クラス)	単位	成績	担当者名	履修年度	期間	科目名(クラス)	単位	成績	担当者名
		1～8類科目(80単位以上)						10類 外国語科目(16単位以上)			
2024	春学期	《 1類 導入科目(4単位以内)》	2	A		202	春学期	Core English (LS) - Intermediate 1	2	A	
2024	秋学期	アカデミック・リテラシー I	2	A		202	秋学期	Core English (LS) - Intermediate 2	2	B	
2024	秋学期	ビジネス・トピックス	2	B		202	春学期	Core English (RW) - Intermediate 2	1	C	
						202	秋学期	Core English (RW) - Intermediate 1	1	A	
						****	春学期	General Academic English (LS)	1		
		《 2類 入門科目(6単位以上)》				****	秋学期	General Academic English (RW)	1		
2024	春学期	基本統計学	2	A		****	春学期	ドイツ語入門 I	2	A	
2024	春学期	現代ビジネス	2	A		****	秋学期	ドイツ語入門 II	2	B	
2024	春学期	簿記学Ⅰ	2	A		****	春学期	ドイツ語応用1	1		
2024	秋学期	簿記学Ⅱ	2	A		****	春学期	ドイツ語応用2	1		
						****	秋学期	ドイツ語応用3	1		
		《 3類 学系基礎科目》				****	春学期	ドイツ語応用4	1		
2024	秋学期	《 学系基礎科目Ⅰ(8単位以上)》	2	A		****	秋学期	ドイツ語応用2	1		
2024	秋学期	経済学	2	B		****	秋学期	ドイツ語応用4	1		
2024	秋学期	社会学	2	B							
2024	秋学期	国際経済学	2	D							
****	春学期	経営学	2	C		1XX24	春学期	11類 自主選択科目(18単位以内)	2	F	
****	秋学期	会計学	2	F		****	秋学期	教育原理	2	B	
						****	春学期	京都メディアの発信戦略と地域貢献(省略)	2		
		《 学系基礎科目Ⅱ》						<他学部科目>			
****	春学期	《 経済・歴史(2単位以上)》	2								
****	秋学期	商業史	2								
****	秋学期	《 商業・金融(2単位以上)》	2								
****	春学期	流通論	2								
****	春学期	《 貿易・国際(2単位以上)》	2								
****	秋学期	貿易業務論	2								
****	秋学期	《 企業・経営(2単位以上)》	2								
****	春学期	経営管理論	2								
****	秋学期	《 簿記・会計(2単位以上)》	2								
2024	春学期	《 5類 実践科目》	2	中止							
		ファイナンシャル・プランナー基礎	2								
		9類 教養科目(12単位以上)									
2024	春学期	建学の精神とキリスト教	2	A							
2024	春学期	日本史(1)	2	中止							
2024	春学期	心理学1	2	B							
2024	秋学期	心理学2	2	A							

見 本

本人・父母の住所・氏名に誤り、変更があれば、商学部事務室に届けてください

試験を受験していないことを示します。

1ヵ月程度授業を受講し、望ましい評価が得られないと判断して、履修を中止した科目です。

同志社大学 成績通知書

学部 商学部 商学科
(商学総合コース)
学籍番号 2024年度生(2年次) 番

氏名 _____
生年月日 _____年(平成 年) 月 日生

学生ID:110524XXXX

学籍に関する事項					
本人住所 〒 _____	Tel. _____				
父母氏名 _____					
父母住所 〒 _____	Tel. _____				
異動種別 _____	異動年月日 _____				
異動事由 _____					
入学 2024年4月1日					
学業に関する事項					
単位修得表					
種別	卒業必要 単位数	修得数 科目/単位	種別	卒業必要 単位数	修得数 科目/単位
1～8類	80以上	9/20			
入門	6以上	4/8			
学系基礎Ⅰ	8以上	4/8			
学系基礎Ⅱ	10以上				
学系展開	20以上				
専門外国語	2以上				
9類	12以上	3/6			
10類	16以上	6/8	合計	126	19/36
11類科目	18以内	1/2	自由科目		
			免許・資格関係科目		

1～8類平均 20単位 2.91
直近学期GPA 2.77 累積GPA 3.31

●資格試験合格体験談

公認会計士の資格に合格された学生に、目指した理由や合格までのお話を伺いました。

夢の公認会計士に



平野 将暉 さん

1. はじめに

私は令和6年公認会計士試験に合格しました。公認会計士は監査・会計の専門家であり、独占業務としての監査業務に携われるのみでなく、会計知識を活かし、コンサル

ティングやアドバイザー業務、そして税理士登録もできます。この合格体験記を通して、公認会計士という資格に興味をもっていただけますと幸いです。

2. 公認会計士を目指したきっかけ

私は、商学部で学生生活を過ごしました。そのため、大学1年時に、簿記検定を受ける機会があり2級を取得しました。勉強が楽しいと感じたことがこれまでの人生になかったのですが、簿記の勉強は楽しいと感じました。

理由として、私は、漠然と様々な会社の経営やお金の事などを理解した「一流の社会人になる」という目標がありましたが、具体的にそのために何をしたらよいか分からず、迷子になっていました。そのタイミングで簿記に出会い、簿記の勉強をすることで、会社の財政状態、経営成績、キャッシュフローを理解できることに気づきました。そこで、この勉強が漠然とした目標である「一流の社会人になる」という目標へと繋がると感じたので、簿記に対して好奇心が湧き、勉強が楽しいと感じました。

そこで、さらに専門的に簿記・会計を勉強したいと思い、大学2年生の秋に、会計で有名であり、私の一生の恩師である志賀理教授のゼミの門をたたきました。そこでは、大学2年・秋の時点で、簿記1級を取得している同級生や、公認会計士試験の勉強をしている同級生との出会いがありました。彼らとゼミの発表に向けて準備などで共に時間を過ごしている中で、様々な知識を修得し、ますます会計が楽しいと感じましたし、気づかぬうちに彼らへの憧れの気持ちが芽生えていました。そこで、「会計のプロフェッショナルになりたい」と明確な夢ができ、大学3年生の夏に公認会計士になる決意を固めました。

3. 合格のための取り組み

公認会計士試験は、大学の期末試験とは異なり、相対評価で合格を争うこととなります。そのため、他の受験生と受験情報をそろえ、学習を効果的かつ効率的に進めるために専門学校に通いました。私は、大学4年生の12月まで体育会陸上競技部で中長距離選手として活動していました。そのため、本格的に専門学校に通い始めたのは大学4年生の12月からでした。公認会計士を目指す学生の多くは、1年生や2年生から専門学校に通い、受験勉強を始めます。本格的に受験勉強をするには、大学生生活の何かを犠牲にし

なければなりません。しかし、私は、陸上部を辞めることはしませんでした。なぜなら、陸上部で幹部を務めたこともあり、チームメイトのために最後までやり遂げたかったからです。そのため、卒業後にも勉強をすることになりましたが、できるだけ短期間で合格するために、いろいろと工夫して受験勉強に取り組みました。とくに、受験生活の中で意識していたことを紹介します。

受験生活の中でまず、私が意識していた一番大事なことは、受験生活・受験勉強を楽しむことです。疑問を感じたかもしれませんが、公認会計士試験は合格まで平均で2-3年かかるといわれています。私も実際に2年半かかりました。この長期戦を乗り切るためには、自身をだましてでも楽しいと思うことが重要になってきます。例えば、ゲームに出てくるキャラクターの名前を覚えようとしたことはありませんか。おそらく、キャラクターの名前は無意識に覚えていたと思います。これは好奇心を抱いていたからだと思います。これは勉強でも同じで、学習することに対して興味を持てば自然と長期記憶に繋がり、最終的に暗記の負担も軽減することができます。そのため、興味を持ち、受験生活を楽しめれば、約2年の期間で苦しい思いをする日は確実に減ります。

最後に、私は、目的意識をもって逆算して勉強しました。具体的には、本試験から逆算して1日ごとに勉強する内容をスケジュール帳でタスク管理していました。その中で、1日のタスクを設定する際に重要な指針を示してくれるのが専門学校の答練です。普段、一生懸命勉強しているのに答練で点数が取れない場合は、普段の勉強に問題があると私は考えていました。そこで、答練で点数が取れない原因を徹底的に分析しました。例えば、点数が取れないのは、理解できていないからなのか、暗記できていないからなのかというように試行錯誤し、不足している点を、タスクとして設定したり、改善できるように普段の勉強に反映させたりと目的をもって勉強していました。このような試行錯誤した日々の積み重ねが、合格に繋がったと確信しています。

4. 公認会計士を目指す学生に伝えたいこと

私は、1発合格ではなく、2次試験である論文式試験で不合格を1度経験しました。論文式試験は年に1度しかないので、当時は頭が真っ白になりました。しかし、諦めずもう1年勉強した結果、合格を勝ち取れました。今は、大手の監査法人で公認会計士試験合格者として監査業務に従事しており、レベルの高い環境で業務に携わることができていることを誇りに思います。合格すれば素晴らしい世界が皆さんを待っています。受験は大変ですが、皆さんは一人ではなく、周りにはたくさんの方の応援してくださっている方がいらっしゃると思うので、乗り切れると私は信じています。勉強できている今の環境に感謝の気持ちを忘れずに、合格を勝ち取ってください。皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。



●留学体験談

大学派遣留学でドイツのベルリン自由大学へ半年間留学された学生さんに留学先での体験談を伺いました。

ドイツ留学と新たな視点



佐々木 浩輝 さん

私は今回、2024年度春学期4月から9月にかけて、ドイツにあるベルリン自由大学経営・経済学部にて学部間協定留学制度を利用し、留学に行きました。

現地では、英語で開講されていた学部の授業や留学生用の授業を受講しました。専攻の経営科目は1つの授業に対して、知識を取り入れる「レクチャー」とそれをアウトプットする「セミナー」の2つの授業形態がセットとなっており、学んだことをすぐに活用できるため、能動的な学習が可能でした。また、留学生用の授業では、ヒトラーの内面に重点を置いた授業や、地政学的側面から見たドイツのエネルギー政策に関する授業を受講しました。これらの授業は少人数で、授業時間のほとんどがディスカッションのため、斬新な視点を吸収したり自分の意見を確立したりすることができました。

ベルリン自由大学では、キャンパスでバーベキューをしたり、市街観光に行ったりと、現地の学生や留学生どうしで交流することができるプログラムもたくさん用意されていました。そのため、ドイツ人以外にも様々な人と友達になることができ、多種多様な文化や習慣に触れることができました。

その他にも、ベルリン自由大学日本語学科の学生と交流する機会もたくさんあり、そこでバディを組むと、学内外のサポートや、ドイツ語と英語の両方を学ぶことができるため、生活や語学力が心配でも問題ありません。私は、ドイツ語がほとんど話せない状態でしたが、同じ学生寮の友達に、バディのように助けてもらえたため、大きな不自由なく過ごすことができました。

幸運なことに、留学期間とサッカー欧

州選手権や夏季オリンピックが開催されていた時期が重なっていたため、現地の友達と何度も観戦しに行きました。パブリックビューイングの環境も非常に整備されており、街中がお祭りのように盛り上がっていたため、熱狂的な空気感を楽しむことができました。

ヨーロッパの中央部に位置するドイツには、本当に多くの国籍の学生が集まっているため、ドイツだからこそそのグローバルな交流を経験することができ、視野を大きく広げることができたと感じています。実際に様々な人と出会い、多くの体験をしたことで、考え方や人生観において大きな影響を受けました。周りの環境の豊かさや、「当たり前」とは何か、自分を俯瞰して見ることができる貴重な時間でした。留学を支えてくれた家族や商学部事務室の方々、現地で出会った皆さまに対して、感謝の気持ちでいっぱいです。



2025年度 商学部教員名簿



氏名	担当科目
----	------

教授

崔 容 熏	流通論
服 部 茂 幸	国際金融論
久 松 太 郎	国際経済学
今 西 宏 次	コーポレート・ガバナンス論
稲 見 亨	財務会計論
五百旗頭 真吾	証券論
河 合 隆 治	戦略管理会計
川 満 直 樹	商業史
小 島 秀 信	ポリティカル・エコノミー
牧 大 樹	計量経済学
丸 茂 俊 彦	銀行論
溝 淵 英 之	マクロ経済学
長 沼 健	国際商取引論
内 藤 徹	ミクロ経済学
中 川 優	管理会計論
中 道 一 心	事業システム論
西 村 幸 子	観光論

准教授

遠 藤 敏 幸	国際経済学
福 本 俊 樹	経営組織論
廣 瀬 喜 貴	監査論
伊 藤 正 隆	工業簿記
久 納 誠 矢	ファイナンス論
石 田 大 典	マーケティング論

特別客員教授

岡 敏 弘	国際環境経済論
-------	---------

助教

Evgeny KISELEV	国際商務ルール論
----------------	----------

助教 (有期)

相 川 雄 哉	基本統計学
趙 勝 新	アカデミック・リテラシーⅠ
藤 岡 裕 大	アカデミック・リテラシーⅠ
木 村 多嘉子	アカデミック・リテラシーⅠ

2025年度 商学部役職者

役職名	氏名
学部長	崔 容 熏
教務主任	長 沼 健
教務主任	五百旗頭 真吾
教務〔入学〕主任	牧 大 樹

氏名	担当科目
----	------

太田原 準	技術経営論
佐々木 一郎	保険論
関 智 宏	中小企業論
志 賀 理	会計学
田 淵 太 一	貿易論
田 口 聡 志	行動会計学
高 橋 広 行	消費者行動論
富 田 健 司	経営統計論
辻 村 元 男	オペレーションズ・リサーチ
植 田 宏 文	金融論
上 田 雅 弘	計量経済学
瓜生原 葉 子	ソーシャル・マネジメント論
山 本 達 司	財務諸表分析
山 下 麻 衣	日本商業史
横 山 斉 理	商業学
吉 川 英一郎	貿易契約論

中 岡 孝 剛	経済学
西 川 純 平	国際開発論
大 原 悟 務	商業学
佐 藤 研 一	国際ビジネス・コミュニケーション論
谷 本 啓	労務管理論
山 内 雄 気	経営史

朱 浩 良	国際経済学
-------	-------

柴 田 喜 悠	アカデミック・リテラシーⅠ
徐 小 鈞	簿記学Ⅰ・Ⅱ
銀 迪	アカデミック・リテラシーⅠ

(アルファベット順)

役職名	氏名
教務〔国際〕主任	久 松 太 郎
学生主任	小 島 秀 信
学生主任	山 内 雄 気
研究主任	田 淵 太 一

新任紹介

①研究テーマ ②自己紹介



イトウ マサタカ
伊藤 正隆

①管理会計、予算管理②今年度より同志社大学商学部に着任いたしました。出身は三重県四日市市で、大学院前期課程を修了後に公認会計士として監査法人に勤務していた経験がございます。専門分野は予算管理で、会計情報（数値）が組織内におけるメンバーの行動にどのような影響を及ぼすかについて研究しています。担当の講義科目は「工業簿記Ⅰ」や「簿記学Ⅲ」などを担当します。講義では、理論的な考え方だけでなく、実務の現場を想定した応用力の養成にも力を入れたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



ジョ ショウキン
徐 小鈞

①財務会計、不正会計②今年度より同志社大学商学部に着任いたしました。私は企業における会計上の不正行為を研究対象とし、その発生原因を探究しています。研究手法としては、実際の企業データを用いた実証研究に加え、人の行動を対象とする実験研究も取り入れ、複数のアプローチで研究を進めています。中国の四川省出身で、大学院生時代は神戸で過ごしました。担当科目は商学部1年生向けの「簿記学Ⅰ」および「簿記学Ⅱ」です。授業では、学生が楽しく思考しながら学び、学習効果を高められるよう工夫をしています。どうぞ宜しくお願い致します。



チョウ スンシン
趙 勝新

①経済史、国際物流②今年度より、同志社大学商学部に着任しました。私は、現代のグローバル化に不可欠な物流、とりわけ海運業に焦点を当て、産業のダイナミズムと社会の相互作用を歴史的観点から研究しています。担当する授業は「アカデミック・リテラシーⅠ」と「ビジネス・トピックス」です。これからの大学生活を充実したものにできるように、学生の皆さんが主体的に行動するための基礎力を育み、学ぶ楽しさを実感できる授業を行いたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



ヒロセ ヨシタカ
廣瀬 喜貴

①監査論②本年4月より同志社大学商学部に着任いたしました廣瀬と申します。専門は監査論で、簿記学の講義も担当いたします。研究では、企業による有価証券報告書や公認会計士による監査報告書の読みやすさを、実験とテキストマイニングの手法によって検証しています。実際の世の中で、どのように会計が使われているのかを教えることで、学術的な側面のみならず実務的な側面についても、会計学の魅力が伝わるように努めます。よろしくお願いいたします。



ヨコヤマ ナリマサ
横山 斉理

①流通・マーケティング②本年4月に同志社大学商学部に着任しました。私は2000年3月に本学商学部を卒業し、神戸大学大学院経営学研究科を経て、流通科学大学、日本大学、法政大学に勤務し、四半世紀ぶりに同志社に戻ってきました。専門は流通論とマーケティング論で、小売業を取り巻くさまざまな現象を定量的、定性的に研究しています。担当科目は「アカデミック・リテラシー」、「ビジネス・トピックス」、「Business English」、「商業学」です。授業を通じてものごとを探求することの楽しさを伝えたいと思っています。よろしくお願いいたします。

支部だより

父母会に参加しませんか

娘が大学へ入学して、父母会の案内をいただき、大学生活などについて教えていただけるとのことから参加してみました。初めて参加した時は、緊張しましたが、気さくな方ばかりで、すぐに打ち解けることができました。

京都の大学ということで、遠く離れた東北の地から、頻繁に会いに行くこともできない中、同じ大学に通う子を持つ保護者の方から、大学生活や就職などについての生の声が聞ける、とても貴重な場です。

娘は第一子のため、親として初めての大学生の子であり、不安が尽きなかったのですが、父母会に参加したことで、気軽に相談できるネットワークができました。

みなさんも父母会に参加してみたいはいかがですか。

東北支部



横戸 由紀子

同志社と私

同志社ってどんな大学？3年前に娘から同志社を受けたいと聞いて、初めて意識するようになりました。それまでは、「関西の優秀な大学」「京都の地元の人が代々通う」といった漠然としたイメージしか持っていませんでした。関東生まれ関東育ちだった私には、あまり縁がなかったこともあります。

娘が無事に合格して、同志社のことをもっと知りたいと思い、父母会役員になりました。明治時代から続く歴史ある大学、その名の通り志を同じくするものが集まった学び舎、アンティーク調の素敵な校舎、知れば知るほど魅力的な大学で、今では、すっかり同志社の大ファンです！娘が大学に通うのも残り2年間、娘共々悔いのないよう過ごしたいです。

関東支部



鳴海 理枝

気軽に父母会にご参加を♪

大学にも父母会があるんだ！と父母懇談会の案内を見た時は正直びっくりしました。

娘を九州から離れた京都へ送り出し少しでも大学のことを知ることができたという想いで初めは参加しました。

先輩父母の方々は皆さんとても気さくで優しく話しかけてくださり、同じく初参加だった方々ともすぐにママ友になることができました。それから3年間毎年ママ友が増えています。年に数回の集まりですが、父母同士相談や意見交換できたり先生方の講演が聞けお話できたりと楽しく貴重な体験を共有しています。ぜひ気軽にご参加ください。

九州支部



内田 由紀子

同志社大学に通えば家族皆仲良し??

商学部3回生の息子と政策学部1回生の娘がおります。この由緒ある同志社大学に子供二人とも入学したなんて、親としては夢のようであり、子供達にも引き続き感謝している今日この頃です(嬉)。さて、その子供達との関係ですが、これが！親子仲良しなのです。今年に入ってからも家族で2月にディズニー、3月にUSJに行きましたし、3月には京都にもお出かけして一泊しました。ほんと仲いいでしょう～(喜)。息子と仲良いのは普通かもしれませんが、娘ともとても仲良しで、娘の好きなアーティストのライブに父娘で行くんですよ～。同志社大学の素敵な環境がいい子に育ててくれているんだよなあ～、と思う今日この頃です(って娘は入学したばかりですが)。7月にまた娘とTHE RAMPAGE from EXILE TRIBEのライブに行つて来ます！

大阪支部



森井 大輔

ご縁に感謝！～父母会に参加して～

母校に娘が入学したのは4年前。のんびり大学時代を過ごした自分とは違い、勉強はさておき、部活にバイトに大学生活を満喫している娘。

そんな娘を眩しく思っている時に、ふと目にした父母会の案内。

なんとなく参加したところ、大学の最新情報を得るだけでなく、たくさん友人ができました。

父母懇談会では、留学について直接先生に相談でき、娘からの情報だけでは知り得なかったことも教えて頂きました。

オーストラリアでのワーキングホリデー、1年間の休学を経て復学し、現在に至っています。

「父母会、めっちゃ楽しんでるやん！」とは娘から。

では、母からも。「めっちゃ楽しい！娘よ。素敵なご縁をありがとう!!」

東海支部



北岡 美貴

同志社大学商学部父母会会則

第1章 総則

(名称及び所在地)

第1条 本会は、同志社大学商学部父母会と称し、事務所を同志社大学商学部事務室内（京都市上京区今出川通烏丸東入）に置く。

(目的)

第2条 本会は、同志社大学商学部（以下「商学部」という。）学生の保護者の連携と親睦を図ると共に、商学部の制度及び教育内容の理解を深め、教育事業を後援し、更には同志社大学の充実発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 会員相互間の理解啓発向上と親睦のため必要な活動
- (2) 大学制度と教育内容を理解するための会議、学習会、講演会等の開催
- (3) 教育研究上の環境整備のために必要な協力
- (4) 会報の発行その他会員に対する広報
- (5) 就職活動についての後援
- (6) 同志社連合父母会への連携協力
- (7) その他この会の目的達成のために必要な事業

第2章 会員

(会員)

第4条 本会の会員は、商学部在籍する全ての学生の父母又はこれに代わる者とする。

(会費)

第5条 会員の会費は、学生1人につき、学期ごとに2,500円とする。ただし、学生が休学する場合は、会費を免除する。
2 会員は、毎学期の始めに会費を納入するものとする。
3 会費の徴収は、同志社大学に委託して行う。

第3章 役員

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- | | |
|-----|-------|
| 会長 | 1名 |
| 副会長 | 4名以内 |
| 理事 | 15名以内 |
| 会計 | 1名 |
| 監事 | 2名 |
- 2 職務分掌については、別途、定める。

(役員の選任方法及び任期および解任)

第7条 会長は、原則として前年度役員の互選により候補者を選出する。
2 副会長は、会長が指名し、理事及び会計並びに監事は、選出された会長と指名された副会長の協議により選出する。すべての役員は総会の承認を得るものとする。但し、会計は、兼任を妨げない。
3 前条の役員のうち会計に関しては、第18条に定める父母会雇用の事務係に委任できるものとする。その場合委嘱の範囲及び費用を文書で取り交わすものとする。
4 役員任期は1ヶ年とする。ただし、再任を妨げない。補欠又は増員の場合に選任された役員任期は、前任者又は同種役員の残留任期とする。
5 同条第1項及び第2項の選出は前年度末までに行い、新年度から総会までの間、選出された候補者が会務を代行することができる。
6 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、役員会において解任することができる。
(1) 心身故障のため、職務の執行に耐えられないと認められるとき
(2) 役員会を混乱させたり、父母会の運営に支障となるなど、社会通念上、適切でない行為があると認められるとき

(相談役)

第8条 本会に相談役を置く。
2 相談役は、前会長とし、会長が委嘱する。
3 相談役は、会議に出席して意見を述べることができる。

(顧問)

第9条 本会に顧問を置く。
2 顧問は、商学部長とし、会長が委嘱する。
3 顧問は、会議に出席して意見を述べることができる。

(参与)

第10条 本会に参与を置く。
2 参与は、次の各号に掲げる者に会長が委嘱する。
(1) 商学部教員で商学部長が推薦する者
(2) 商学部事務長
3 参与は、会議に出席して意見を述べることができる。

第4章 会議

(会議)

第11条 会議は、総会及び役員会とする。
但し、委員会を設置することができる。

(総会)

第12条 総会は、毎年1回4月に定時総会を開催する外、必要に応じ臨時総会を開催する。
2 総会は、役員及び支部長をもって構成（以下構成メンバーを「総会委員」という）する。
3 総会は、会長が招集し、議長となる。
4 総会は、役員及び支部長の過半数の出席により成立する。
5 総会においては、次の議事を議決する。
(1) 基本的事業計画に関する事項
(2) 収支予算の決定及び決算の承認
(3) 会則の改正
(4) 会長以下役員承認
(5) その他会長が特に重要と認める事項
6 議事は、出席者の過半数をもって議決し、可否同数となるときは議長が決定する。但し、委任を認める。受任者は、出席員のみとする。白紙委任の場合は、議長に委任したものとみなす。

(役員会)

第13条 役員会は、原則3か月ごとに開催するほか、必要に応じて開催し、本会運営に必要な事項を協議し執行する。緊急を要する場合は総会に代わり役員会で審議、決定することができる。但し、次回総会において議案として提出しなければならない。
2 役員会は、役員をもって構成する。
3 役員会は、会長が招集し、議長となる。
4 役員会は、役員過半数の出席により成立する。但し、委任を認める。受任者は、出席員のみとする。白紙委任の場合は、議長に委任したものとみなす。
5 役員会においては、次の事項について審議・報告・執行する。
(1) 総会への提出議案の作成
(2) 次年度会長候補者の選出
(3) 予算の立案と執行状況の報告と執行の承認
(4) 父母会本会主催行事に関する事項
(5) 役員解任に関する事項
(6) その他会長が必要と認める事項
6 前項の審議事項は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数となるときは議長が決

定する。ただし、(5)役員解任に関する事項に関しては、解任対象者を除く出席者の3分の2以上の賛成をもって決定する。また、後任役員を選出する場合は、7条4項の通り補欠選任として取り扱うものとする。
7 役員会は、本会運営の中心となって活動を掌るものとする。
8 役員会で、別途委員会を設置することができる。

第5章 支部

(支部の設置と運営)

第14条 本会の事業運営のため、各地に支部を置く。
2 支部は、京都、大阪、兵庫、東海、東中国、西中国、四国、九州、北陸、関東、北海道及び東北の12支部とし、会員は、別表第一の右欄に掲げる居住地に応じ、同表左欄に掲げる支部に属するものとする。
3 各支部において支部の事情により運営が困難な場合は、本会にて運営を代行する。
4 各支部に支部長、その他支部役員を置く。支部役員選任については支部運営細則に定める。
5 その他支部の運営に必要な事項は、支部会則に定める。
6 父母会活動での言動が第2条の父母会の目的や第3条の父母会の事業内容から著しく外れており、社会通念上、本会役員会として不適切であると認定された場合は、本会役員会の決議により本会役員職、支部長職および支部役員職を解任することができる。

第6章 会計

(経費)

第15条 本会の経費は会費、寄付金、その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第16条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(学部監事)

第17条 本会の会計監査にあたり、第6条に定める監事（以下「役員監事」という。）に加え、学部監事1名を置く。
2 学部監事は、商学部長の推薦を受け、参与である商学部教員の中から会長が委嘱する。
3 学部監事は、役員監事とともに、本会の会計を監査する。
4 学部監事の任期は、役員監事の任期に準じる。

第7章 雑則

(事務係)

第18条 本会の事務を処理するため、父母会雇用の事務係を置く。
2 事務係が行う事務の取扱については、本会運営細則および支部運営細則にて定める。

(教員父母協議会)

第19条 本会が行なう事業の充実を図るため、教員父母協議会を設け、本会と商学部とが事業内容について協議する。
2 教員父母協議会の組織、協議事項等については、別に定める。

(運営についての意見)

第20条 会員は、本会の運営に関し何時でも会長又は支部長に対し、意見を提出することができる。会員から意見があったときは、会長は役員会に、支部長は支部役員会に諮り適正な措置を講じるものとする。

(その他)

第21条 本会則に定めるものの外に本会の会務運営上必要な事項は、本会運営細則に定める。

附則

1 本会則は1971年4月1日から施行する。
2 第5条の規定は、2011年度以後に入会した会員に適用し、2010年度以前に入会した会員については、なお従前の例による。
3 個人情報の取扱いについては、同志社大学が定める規程を準用する。

(1973年4月21日一部改正)

(1974年4月20日一部改正)

(1975年4月19日一部改正)

(1980年7月20日一部改正)

(1991年10月1日一部改正)

(1997年4月19日一部改正)

(2010年4月17日一部改正)

(2011年4月16日一部改正)

(2015年4月18日一部改正)

(2017年11月25日一部改正)

(2021年4月17日一部改正)

(2022年11月23日一部改正)

(2023年11月11日一部改正)

別表第一（第14条関係）

支部名	居住地
京 都	滋賀県、京都府、奈良県
大 阪	大阪府、和歌山県
兵 庫	兵庫県
東 海	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
東中国	鳥取県、岡山県
西中国	鳥取県、広島県、山口県
四 国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九 州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
北 陸	富山県、石川県、福井県
関 東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県
北海道	北海道
東 北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

職務分掌について

- ① 本会の最高意思決定機関は総会とする。
- ② 本会の執行機関は役員会とする。
- ③ 役員職務
会長は、本会を代表し、会務を総理する。
副会長は 会長を補佐し、会長に事故あるときは、会長があらかじめ定めた順位により、その職務を代理する。
本会会計は、事務係と連携し、事務係が行う本会経費の入出金の確認を四半期ごとに行い、本会役員会にて報告する。
会長、副会長は、教員父母協議会に出席する。
④ 本会監事は、半期ごとに会計監査を行い、役員会に報告、及び定期総会に報告する。
⑤ 本会理事は、役員会及び総会に出席し、提出議案について採決する。また緊急動議提出権を有するものとする。

キャンパスカレンダー Campus Calendar

4月1日(火)

春学期始め・春学期入学式

4月11日(金)

春学期面接授業開始

4月29日(火)～5月5日(月)休講

ゴールデン・ウィーク

5月下旬

成績通知書発送

7月17日(木)

面接授業最終日

7月21日(月)海の日

試験日

7月18日(金)～7月31日(木)

春学期期末試験

8月1日(金)～9月11日(木)

夏期休暇

9月27日(土)

春学期卒業式・学位授与式

9月21日(日)

秋学期始め・秋学期入学式

10月1日(水)

秋学期面接授業開始

10月13日(月)スポーツの日

授業日

11月1日(土)、11月2日(日)

同志社クローバー祭(スポーツフェスティバル)

11月26日(水)～11月28日(金)休講

創立記念行事週間

11月29日(土)休日

創立記念日

ホームページのお知らせ

https://com.doshisha.ac.jp/parents_association/

インターネット上に、ホームページを開いています。



〈父母会の新着情報〉

○父母懇談会

○父母のための一日大学

○父母のための就職セミナー

等

日時、会場、講師等、いずれも詳細が決まり次第、随時更新します。

所属支部からのご案内もご覧いただけます。

ぜひ、アクセスしてください。

商学部父母会のFacebook・Instagramができました。
是非、フォローをお願いします。



Facebook



Instagram

発行
編集・制作
連絡先

2025年5月

同志社大学商学部父母会

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
同志社大学商学部事務室内

月～金 9:00-17:00 (11:30-12:30除く)

TEL: 075-251-3660 FAX: 075-251-3068

e-mail: sho-fubo@mail.doshisha.ac.jp